

破産法案外一件特別委員小委員會議事速記録第三號

大正十一年二月四日(土曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ前回ニ引續キマシテ
委員會ヲ開會致シマス、前回ハ第一章、即チ總則ノ御質問
ガマダ殘リテ居リマスヤウデスガ、ソレニ付キマシテ御質問
ゴザイマス方ハ、ドウゾ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○加太邦憲君 此第五條ノ限定承認又ハ財産分離ト云
フ、其財産分離デスガ、此財産分離ニ付テ不同意ノ者ガ出
來テ、異議ノアリマストキハ訴訟ヲ確力起スコトニナルノデア
リマスネ

○政府委員(池田寅二郎君) 民法ノ規定ニ基キ民事訴
訟ノ手續ニ依リテ、裁判所デ命令ヲスルコトニナリテ居リマス
○加太邦憲君 先ヅ分離ニ不同意ガアレバ、監督カ破産
管財人カ、ドチラカニ向テ最初ニ不同意ヲ述ベ、且ツ訂正
ヲ申出ル、サウシテ尙ホソレガ聽カレナクテ、サウスレバ非訟
事件ニナル、サウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(池田寅二郎君) 全ク破産法ノ手續ニ離レ
マシテ、民法並ビニ民事訴訟法ノ規定デヤテ居リマスコト
ニナリテ居リマス、民法ノ千四十一條ニアリマス
○加太邦憲君 サウデスカ

○松室致君 チヨット私モ質問 イタシマス、此第一條ノ破
産宣告ノ時ヨリ效力ヲ生ズルコト云フ規定デスガ、此手續ハ
宣告ノ確定スルトシナイトニ拘ラズ、宣告ノ效力ガ始マルト
云フコトガ、此間山内君カラ御説明デ分リマシタガ、尙ホ疑
ヲ抱イテ居リマスハ、破産宣告ノ結果官吏ニナルコトガ出來
ナイトカ、辯護士ニナルコトガ出來ナイトカ、色々ノ效力ガア
ルヤウデスガ、ソナモノモ失張確定ノ時ウラ效力ヲ生ズルノ
デスカ、例ヘバ官吏デアル人ガ破産宣告ヲサレルト、確定シ
イニ拘ラズ、官吏タルノ資格ヲ失フテ、免職ヲセラレルト云フ
譯ニナリマスネ

○政府委員(池田寅二郎君) 唯今御話ニナリマシタコト
ニ付テハ、破産ノ決定ガ確定セナクテ、其結果ハ出ナイト
云フコトニナリマス、ト申シマスハ、破産ノ手續ヲ遂行スル
ト云フ意味ニ於テ效力ヲ生ズル、斯ウ云フコトニナリテ居リ
マス、デアリマスカラ宣告ガアリマスレバ直チニ財産ノ差押ヲ
シマシテ、サウシテ破産ノ手續ヲ遂行スル、斯ウ云フコトニナ
リマスノデアリマス

○松室致君 矢張り今私ガ御尋シタヤウナ結果ハデスネ、
矢張り破産ノ效力デスガ、破産ノ效力ノ中ニ包含サレルノ
デアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 廣ク申上ゲマスレバ、勿論
破産ノ效力ニ入ルコトデアリマスケレドモ、併ナガラ此破産
法案ノ所謂效力ヲ生ズルコト云フコトハ、總テ此破産關係ニ
於ケルコトニ付テ、總則トナルノデ、特ニ此第一條ノ適用ヲ
除外シタヤウナモノハ、自ラ此法案ノ中ニ罰則ニ付テ特別ノ
規定ガアルノデ、例ヘバ三百七十四條ニ詐偽破産ノ場合ニ
於テ、宣告ガ確定シナクテハナラヌト云フヤウナ規定ヲ置イ
テアル、ソコデ例ヘバ刑事訴訟法ノ中ノ規定ハ云々ト云フ
文字ガ色々使テデアリマスケレドモ、他ノ法規ニ於テ刑ニ處
セラレタルト云フヤウナコトナリ、或ハ其他破産ノ宣告ヲ受
ケタルト云フヤウナコトノ書イテアルノハ、總テ例外ナク裁判
ガ確定シタ場合ノ豫想シテ居ルト云フコトガ、民法ニ於テモ
或ハ其他ノ法規ニ於テモ、解釋ハ通ジテ確定裁判ト見ルコ
トニナリテ居ルト考ヘマス、唯此破産法案ノ中ニ於テ、宣告ノ
效力ガドウナルコト云フコトニ付テ言ヘバ、即チ確定ヲ待タ
ズシテ宣告ヲ受ケテ效力ヲ生ズル、唯此法案ノ中ニ多少ノ
例外ノ場合ハ、特ニ確定ト云フ文字ヲ明カニ並ベテ、破産ノ
宣告ヲ受ケタルト云フコトハ確定宣告ヲ受ケタモノト云フコ
トハ、單リ破産ノミナラズ刑法ニ付テモ、同様ニ解釋セラレ
テ居ルト考ヘテ居リマス

○松室致君 現行法ハドウナッテ居リマスカ、
ナッテ居リマスカ、矢張り、破産宣告ガテ效力ヲ生ズルコト
ニナリテ居リマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 現行法ノ書き方ハ、是ハ手
續法ノ一般ノ法則ニ違フテ、決定ノ執行力ハ御承知ノ通り
民事訴訟法ニ於テ直チニ執行力ガアルト云フコトニ廣クナ
リテ居リマス、然ニ現行破産法ノ破産決定ハ直チニ執行力ガ
アルニハアリマスガ、是ハ假執行ノ形ニ於テ執行スルト云フ
ヤウナコトニ確カナッテ居ラタ思ヒマス、此案ノ決定ト云フ
モノハ、民事訴訟法ノ原則カラシテモ、確定ヲ待タズシテ執
行力ガアルト云フノガ原則デアリマシテ、其原則ノ立方カラ
宣告ノ時ヨリ效力ヲ失フ、縱テ執行力ヲ生ズト云フ趣意ニ
立テテ居リマス

○松室致君 サウシテ見ルト現行法デハ、確定シテ始メテ
效力ガ生ズルト云フノガ原則ニナリテ居ルノデスカ、破産法
以外ノ法律ニ見エテ居ルトコロノ破産ノ效力ハ、矢張り確
定ノ意味ダト云フコトニ解釋サレマスガ、此破産法ノ第一
條ニ效力ガ宣告ノ時カラ生ズルト云フ規定ヲ拵ヘタ以上ハ
即チ例外ノ規定カ何カ拵ヘテ置カヌト、此原則ノ結果ガ他

ノ方ニモ及ンデ、矢張り等シク宣告ノ時カラ效力ヲ生ズルト
云フコトニナリハシマイカト云フ疑ヒガアリマスガ、其點ハ如
何デアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 私ハ其點ニ付テハ、各法規
ニ付テ各別ニ考ヘナクテハナラヌト考ヘルノデ、例ヘバ今ノ官
吏ノ身分ヲ失フ、身上ニ效果ガ來ルノハ確定裁判デナクテ
ハナラヌト云フコトヲ私ハ申シマシタデスガ、併ナガラ此案ト
民法ヲ比較シテ、例ヘバ法律行為ニ關スル破産ノ效力、破
産者ガ破産宣告後爲シタル行為ハ其效力ガナシ、或ハ破産
ノ結果ト云フモノハ契約ノ解除ガ出來ルト云フヤウナコトガ、
此處ニ色々書イテアルノハドウナルカト云フト、是ハ破産ノ
確定ヲ待タナイ、是ト對照シテ民法ニ於テ例ヘバ、或ハ私ノ
解釋ガ間違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、破産ノ宣告ニ依テ委
任ガ消滅スルト云フコトハ、必シモ確定ヲシテ委任ガ消滅ス
ル譯デナカラヌト思フ、民法ノ執ッテ居ルトコロモ、此破
産ニ關スル實體規定ト、民法ノ破産ニ依ルトコロノ實體規
定ニ於ケル破産ノ效力ト云フモノハ、矢張り破産法案ト民法
ト併シテ考ヘナクテハナラヌト思フ、唯今ノ質問ハ途中カラ
聽キマシタケレドモ、身上ノ事、官吏ガ官吏タル資格ヲ失フ
ノデアルト云フヤウナ問題ニ付テハ質問ト思ヒマス

○松室致君 サウデス

○政府委員(山内確三郎君) ソレハ宣告ガ確定シナケレ
バナラヌト云フコトニ解釋シタ譯デアリマスガ、現行破産法
ノ下ニ於ケルマシテモ、民法ノ所謂委任ノ終了ト云フヤウナコ
トハ、必シモ確定ト云フコトニ解釋スルモノデハナイノデナ
イカ、ソレデアリマスカラ實體ノ破産ノ效果ガドウナルカ、其實
體法ノ效果ヲ見、總テニ付テ解釋ヲシナイト現行法ノ下ニ
於テ必シモ一律ニハイカヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○松室致君 先ヅ其御趣意ハソレデ分リマシタガ、此手續
ノ方ヲ確定セナイニ拘ラズ、執行シテ行クト云フコ
トハ第一一條ダケデ行クトデスカ、又別ニ注文ガアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 法文自體カラ分ラヌコトハ
アリマセヌガ、結局第一一條ガ元ニナルノデス、ソコデ手續ノ中
ニ物ニ依テハ裁判確定シタル時、破産宣告確定シタル時、或
ハ取消決定確定シタル時トカ、書分ケテ居リマスモノハアリ
マスガ、要スルニ破産ノ宣告ヲ直チニ執行スルト云フコトハ、
手續ノ規定ヲ通覽スレバ分ルノデアリマス、大體其趣旨
ハ、併ナガラ之ヲ括テ明カニシタノハ即チ第一一條デアル、
斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○松室致君 第一條ノヤウナ法文ヲ設ケテ、獨逸ノ法律トカ何ト云フモノ、例ハアルノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) ソレハ獨逸ノ例ナンデゴザイマス

○松室致君 私ノ考デハ佛蘭西ノ商法ナドハ破産宣告ガ確定スルト、其效力ガ支拂停止ノ時ニ溯ルト云フコトニナテ居テ、餘程法律ガ複雑シテ居ルヤウデスカ、ソレヲ既往ニ溯ラセヌデ、破産宣告ノ時カラ效力ガ生ズルト既往ニ溯ラスト云フヤウナ意味デ、此第一條ハ出來テ居ルノデヤナイカト思フノデスカ、此點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 破産ノ宣告其モノハ既往ニ溯ラナイノデスカ、併ナガラ破産宣告ノ結果、既往ニ溯テ不利益ヲ受ケルト云フ事柄ハ澤山アルコトナデスカ、即チ是ハ否認權ノコトニナルデアリマス、支拂停止後ノ行為ハ餘程寛ナル條件デ以テ、破産宣告後ニ之ヲ否認スルコトハ出來ルヤウニナテ居ル、ソレデアリマスカラ破産宣告其モノノ效力ハ前ニ溯ラナイ、破産宣告ト云フコトハ破産宣告ノ時カラ效力ヲ生シマス、此時ヲ元ニシテ、或ル時期マデハ既往ニ或效力ヲ及ボスト云フコトハ此案デモアル、宣告其モノハ既往ニハ溯ラナイ、斯ウ云フコトニナルデアリマス

○松室致君 宣告既往ニ溯リヤウハナイノデスカ、レドモ、效力ガ既往ニ溯ルヲスト云フコトハ有リ得ベキコトデ、此法文ニハ效力ヲ生ズタルノデスカ、矢張り效力ガ溯ラスト云フノガ原則デ、溯ルノガ例外ニナルノデヤアリマセスカ

○政府委員(山内確三郎君) 效力ガ溯ルノハ例外ニモアリマセス、效力其モノガ溯ルト云フコトハ……

○松室致君 例外ニモ無イノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) サウデス
○松室致君 ソレカラ此第五條デスカ、之ヲ私ハドウモマダ能ク了解シテ居リマセスカ、此間モチヨット御尋シマシタヤウニ、限定承認ソレカラ財産分離ヲ許シテ、置キナガラ其手續ヲ中止シテ、一方ニ破産ノ手續ガズン、進シテ行クトキニハ、其破産終結ノ決定後ニ至テ、其手續ヲ進メルコトガ出來テモ、モウ既ニ其效果ガ何モ見ラレヌヤウナ場合ヲ澤山生ジテ來ハシマセスカ、其點ニ付テモウ少シ御説明ヲ承リタイ

○政府委員(山内確三郎君) 限定承認、財産分離ト云フノハ、結局其手續カラ云ハバ清算手續ニナルノデスカ、破産ノ宣告モ其執行ハ結局清算手續ニナル、甚デ限定承認ト財産分離ヲ許シ、一方ニ破産ノ宣告ガアレバ、清算手續ガ二ツアルコトニナル、ソコデ其場合ニハ一方ヲ中止シテ、嚴格ナル清算手續ヲ清算ヲ續テ行クト云フノガ、此ノ中止ノ規定アル所以デゴザイマス、然ニ限定承認ト云フノハ、御承知

ノ通り有限責任ノ相續デアル、相續人ハ被相續人カラ受ケタ財産ノ限度ニ於テノ責任ヲ負フト云フ效果ヲ生スル、ソレカラ財産分離ニナリマス、財産分離ガアレバ、相續債權即チ先代ノ債權者ハ、其相續財産カラ優先シテ辨濟ヲ受ケル、足ラザル分ダケヲ相續人ノ財産カラ辨濟ヲ受ケル、一方ニ相續人ノ方カラ考ヘマス、債權者相續人ノ財産ヨリ優先シテ辨濟ヲ受ケル、一方ハ相續財産カラ遅レテ辨濟ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナテ、權利行使ニ付テ、民法ノ實體上優先權ト劣後ノ地位ト之ガ定マル譯ニナル、ソレデアリマスカラ破産手續ガ終テモ終ラヌデモ、限定承認財産分離ニ依テ生ジタ實體上ノ效果ハ是ハ動カスコトハ出來ヌノデアリマス、ソコデ此破産手續ガ終テモ、例ヘバ相續財産ニ對シテ破産手續ノアル後ニ破産手續ガ終テ、又相續人ノ財産ニドウスルカスウスルコト云フ問題モ殘ルトキニハ、此限定承認ト財産分離ノ效力ヲ元ニシテ關係人ノ權利義務ト云フモノガ自カラ定マルコトニナルデアリマス、破産手續ガ終テモ、限定承認財産分離ノ效力ト云フモノガ、依然トシテ殘ルノデ、殊ニ破産手續ガ終結スルノハ、或ハ破産廢止ニ依ル終結、破産取消ニ依ル終結、強制和議ニ依ル終結ト云フコトニナル、引續イテ限定承認財産分離ニ依ル清算手續ヲ續行シナケレバナラヌト云フコトニナル、破産終結ノ決定中ニハ配當ニ依テ終テ場合モアル、其配當ニ依テ終テ場合ニ於テハ、限定承認財産分離ノ手續ヲ續行スル場合ハ殆ド想像ガ事實上付カヌカモ知レマセス、併ナガラ其場合ニ於テモ、限定承認財産分離ノ效力問題ト云フモノハ、自カラ殘テ來ルト云フコトニナリマス

○松室致君 能ク分リマシタ

○委員長(伯爵松平賴壽君) モウ第一章ハ此位デ打切りマシテ、第二章ニ移リタクゴザイマスガ、如何デゴザイマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵松平賴壽君) 第二章、破産財團

○政府委員(山内確三郎君) 此破産財團ノ大體ノコトハ、委員會ノ初メニ於テ私カラ申上ゲテ置キマシタガ、要スルニ破産債權者ニ配當スルコトノ得ベキ財産デアル、サウ云フコトニナルデアリマス、ソレデ第六條ハ然ラバ如何ナル財産ガ破産財團ニナルカト申シマス、勿論ソレハ破産者ノ財産デナケレバナラヌ、破産者ノ財産デアルガ、ソレハ破産者ガ破産宣告ノ時ニ於テ有スル財産ニ止マルノデアル、斯ウ云フノガ原則トナルデアリマス、現行法ハ破産宣告後ニ破産者ガ財産ヲ新ニシテモ、破産財團中ニ繰入レルコトニナテ居ル、ソレハ公平ニナラズト云フ意味デ、破産宣告ノ時ノ財産ダケヲ、破産當時ノ債權ノ辨濟ニ充テルト云フ趣意カラ是ハ第六條ノ原則ガ定テ居ル、ソレカラ二項ノ將來ノ請

求權ハ例ヲ取ッテ申上ゲテモ宜シウゴザイマス、連帶債務ノトキデアリマス、債務者ガ二人アル、其中ノ一人ノ債務者ガ破産ヲシマス、ソレト、他ノ連帶債務者ハ場合ニ依レバ債權者カラ辨濟ヲ求メラレルト云フコトニナル、債權者カラ辨濟ヲ求メラレルト云フコト、例ヘバ一萬圓ノ債務ヲ連帶シテ負擔シテ居ルトキニハ、破産セザル方ノ債務者ガ一萬圓取ラレテ仕舞フ、負擔部分ノ半分ニシマス、五千圓ダケハ破産財團ニカカルコトハ出來ヌ、即チ求償權ト云フモノガ民法上生ズル、是ハ連帶債務者ノ場合デアリマス、連帶シタ場合ニ一方ガ破産ヲスレバ、サウ云フ風ニ破産セザル方ニ掛カラレテ、サウシテ自分ノ方デ他日求償權ヲ行ハナケレバナラヌト云フ事情ガ茲ニ生スル、其時ニ辨濟前求償權ヲ破産債權トシテ行フ、即チ之ガ將來行フトアルベキ請求權ト云フノデ、其一例デアリマス、ソレハ手形債務ノ關係ニ付テモサウ云フコトガ起ル、保證等ニ付テモサウ云フコトガ起ルノデ、將來行フトアルベキ請求權デアリマス、殆ド條件付債權ニ類似シタ權利デアアルカラ、一ツノ財産權ト見ラレルノデアリマセスカ、今私ノ申シマシタハ裏ノ方ヲ申シテ甚ダ相濟ミマセヌデシタガ、此分ハソレヲ裏カラ申シマス、破産者ガ例ヘバ連帶債務者ノ一人デアアル、サウスルト其破産者ハ場合ニ依ルト全部拂フ、茲ニ債權者ガアルトスルト、破産者ガサウ云フ狀態ニ立ッタクニハ、將來行フトアルベキ請求權ヲ持ツコトガ出來ル、サウ云フ時ニハ破産者ノ將來ノ求償權ヲ、破産者ノ現在ノ財産トシテ、破産者ノ財産ノ中ニ入レルト云フノガ二項ノ趣意デアリマス、三項ハ、是ハ破産ノ財團ハ要スルニ全般ノ強制執行ト云フ様ナ意味デ、ソノ財産ヲ全部差押ヘテ債權者ニ配當スルト云フ趣意デアリマス、普通ノ場合ニ差押フルコトノ出來ナイ財産ヲ、破産財團ニ入レルノハ無理デアアルカラ、ソレヲ破産財團ノ中カラ引抜イテ、差押フルコトノ出來ル財産ダケヲ破産財團ニスル、所ガ民事訴訟法ノ差押フ可カラザル財産ト云フ中ニハ、少シ廣クナテ居ル、詰リ事業ハ繼續サレルノデアアル、普通ノ場合ニハ……事業繼續ニ妨ゲノアル、財産ハ差押ヘテハナラヌト云フノガ、普通ノ場合ノ強制執行ノ原則ニナテ居ル、所ガ破産ノ方ハ主トシテ言ヘバ事業ガ破産スルノデアアル、事業ヲ繼續サセルト云フタメニ財産ヲ殘シテ置イテ、其以外ノ財産ダケハ差押ヘルコトガ出來ルト云フノデアリマス、入レルト云フ、斯ウ云フコトニナルト云フコト、破産ハ全ク意味ヲナサヌト云フノデ、民事訴訟法中差押フベカラザル物權トナテ居ルモノモ、此ノ破産手續ノ關係ニ於テハ、差押フルコトヲ得ベキモノトシテ破産財團ニ入レルト云フノガ、此但書ノ例外ニナル、所以ニナル、ソレカラ七條ハ是ハ當然ノコトデアリマシテ、債務者ガ財産ヲ自分デ整理スルト云フコトニナテハ破産手續ハ行ハレナ

イ、其ノ財産ノ管理處分ハ管財人ガ全部之ヲ行フ、ソレカラ八條ハ少シク混雜スルヤウナ問題デアリマスガ、茲ニ債務者ガ破産ノ宣告ヲ受ケテ致シマシテ、所ガ其以前ニ破産者ノ先代ハ死シテ居ル、其相續ガ茲ニ起ル、破産宣告後ニ相續ガ起レバ、破産財團ニ關シテハ問題ガ起ラナイデアリマス、破産宣告前ニ相續ガ起ル、サウスルト其財產ハ破産宣告前債務者ガ取得シタル財產トシテ、破産財團ニ這入ルノ原則ニナル、然ニ先代ハ非常ニ負債ガ澤山アルト云フヤウナ場合ニ、自分ハモウ既に破産ノ宣告ヲ受ケテ仕舞フデ居ルカラ、マア捨テドウナシテモ構ハヌト云フノデ、單純承認ヲスル、全部先代ノ債務ヲ自分ガ承認シテ引受ケルト云フ、單純承認ヲシスト云フト、此相續人ノ債權者ハ大變損害ヲ受ケルコトニナルカラ、破産者ガ破産宣告後ニ單純承認ヲシテモ破産手續ヲ遂行スル上カラシテ、之ヲ限定承認ト云フコトニ法律ハ看做ス、サウシテ相續人ノ債權者ヲ害シナイヤウニリマシテ、八條ノ趣意デアリマス、九條ハ同じ意味デアリマシテ、八條ハ相續ノ問題デアリマスガ、九條ハ特ニ遺產相續ニ關シテ、反對ノ場合デアリマスガ、其趣意ハ同様デアリマスガ、今度ハ遺產相續ガ起ラタ場合ニ、破産宣告前ニドウモハ財團ニ取ラレル、損ダカラト云フノデ、自分ガ遺產相續ヲ拋棄シテ仕舞フ、サウスルト例ヘバ遺產ノ相續ハ弟ガ利益ヲスルト云フコトニモナリマセウ、サウスルト是又破産債權者ヲ、相續人ノ債權者デス、破産債權者ヲ害スルト云フ場合ガ起リマスカラ、相續拋棄シテモ、矢張り限定承認ノ效力ヲ有セシメテ、破産財團即チ總債權者ノ利益ヲ圖ルト云フノガ、九條ノ趣意デアリマス、茲ニ家督相續ト云フコトヲ言ハズニアルノハ、家督相續ハ是ハ戶主ニナルト云フ關係ニナルカラ、只財產ダケノ相續遺產相續ハ別デアレドモ、家督相續ヲ拋棄セシムルト云フノハ、破産手續ニ於テ矢張り是ハ限定承認ノ效力ヲ有セシムルト云フコトニナルト云フト、戶主權ノ關係上非常ニ奇態ナ關係ガ起ルカラ、是ハ遺產相續ダケニ限ルト云フノガ九條ノ一項ニナシテ居ル、二項ハ拋棄ニ關シテコトデアリマスガ、法律デハ限定承認ノ效力ヲ有シテアルケレドモ、矢張り拋棄ヲシタ方ガ宜イト云フコトデ、管財人ガ考フルナラバ、其拋棄ト云フコト極メテモ差支ナイト云フ趣意デアリマス、ソレカラ十條ハ、包括遺贈ニ準用スルト云フコトニナシテ居リマスノハ、包括遺贈ト云フノハ、民法ノ下ニ於テ遺產相續ト同じ取扱フデ居ル、包括遺贈ト申シマスルト御承知ノ通りニ自分ノ全財產ヲ財產ノ割合ニ依テ、例ヘバ五分ノ一トカ或ハ二分ノ一トカ、ソレヲ包括シテ他人ニ遺言デ贈與スルト云フ場合ノ規定デ、債權債務ガ全部他人ニ移ル場合デアリマシテ、相續ト同様ニ民法デ取扱フデ居リマスカラ、破産ノ關係ニ於テ

モ相續ト同様ニ取扱フ、ソレカラ十一條ハ、是ハ特定遺贈ノ場合デアリマスガ、特定遺贈ト申シマスルト、例ヘバ或ル不動產ヲ、是ハ此場合デ考ヘマス、破産者ニ遺贈スルト云フヤウナ關係デ、此分モ勿論之ヲ承認スルトカ、拋棄スルトカ云フコトハ、破産者ノ自由デアリマスガ、若シ破産者ガ或ハ承認ヲシナイ、或ハ拋棄ヲシナイト云フ場合ニハ、管財人デ財團ノ利益ヲ圖テ、或ハ承認ヲスル、或ハ拋棄ヲスルト云フコトニナルノデ、特定遺贈ノコトデアラカラ、先ヅ普通ハ承認スルノガ原則ナンデアリマス、併ナガラ中ニハ負擔付遺贈ト云フヤウナモノガアリマス、或ハ手續ニ鑑ミ必ズシモ利益ト考ヘナイカラ拋棄スル場合モ起ル、十二條ハ是ハ相續財產ニ破産ノ宣告ノアツタ場合デ、書イテ見レバ言フヲ俟タヌコトデアリマスガ、即チ相續財產全部破産財團ニナルノデアル、所ガ相續破産ノ宣告ノアル場合ハ、相續ノ開始シタ場合アル、多ク……多クデナイ總テデス、サウシマスト相續ガ開始シテ、ソレカラ後ニ破産宣告ガアル前ニ、諸般ノ關係ヲ生ズルノデアリマス、或ハ財產ヲ處分シタト云フヤウナ關係ガ起ルノデアリマス、勿論本則トシテハ十二條第一項ニ此コトヲ掲ゲテ、事後ノ處分等ニ依テ財產ニ異動ノ生ジタ場合ノコトニ付テハ、後ニ更ニ規定イタシテアルノデアリマス、二項ハ是ハ民法ノ限定承認ノ場合ト同様ニナシテ居リマシテ、一體相續ガ茲ニ起ルト云フコト、例ヘバ相續人ガ先代ニ權利ヲ有スル、或ハ先代ガ相續人ニ權利ヲ有シテ居ルト云フ場合ニ相續スレバ、此所デ混同デ、債權債務ノ混同デ、消滅スルト云フノガ原則ニナルノデアリマス、併ナガラ相續財產ヲ一般ノ財產カラ引離シテ、破産宣告ヲスルト云フ場合デアリマス、即チ財產ヲ分離シテ清算スル場合デアリマス、民法ノ限定承認、財產分離ト同様ニナリマス、此ノ先代ト相續人トノ間ノ權利義務ノ關係ハ、消滅シナイモノトシテ取扱フ、サウシマス相續開始當時ニ於テ先代ノ財產デアル、即チ相續財產、其相續財產ノ範圍ト云フモノハ、少シ變化ヲ生ズルコトニナリマス、相續人ガ有シテ居タ權利ハ、依然トシテ相續人ガ相續財產ニ對シテ有スル、先代ガ有シテ居タ權利ハ、相續財產ナルモノガ相續人ニ對シテ權利ヲ持シタルト云フ取扱ヒニ致スコトニナリマス、ソレカラ十三條モ相續ノ場合ノ破産財團ノ關係デアリマスガ、是モチヨット一言申上ゲマセヌト分リマセヌガ、相續ガ隱居ニ始テ、或ハ入夫婚姻ニ依ル戶主ガ、女戶主ガ夫ヲ迎ヘルト云フコトニナルト、入夫婚姻ト云フモノガ起リマスガ、其時ニハ無論相續ガ原則トシテ開始スルトニナル、入夫ガ戶主トナル、其コトハ其場合ノ家督相續デアリマスガ、此ノ家督相續ノ場合ニハ、隱居モ或ハ前ノ女戶主モ、財產ヲ保留スルト云フコトガ民法ノ規定デ出來ルヤウニナシテ居リマス、即

チ相續シタニ拘ラズ其財產ハ相續人ニ移ラズシテ、自分ノ財產トシテ依然之ヲ保留シテ置ク、是ガ留保財產デアリマス、其留保財產ハ相續財產ハ本來ナイ、即チ相續シナイ、留保ナルガ故ニ相續シナイ、故ニ相續財產デナイ、本則カラ云ヘバ破産財團ニ屬シナイモノデアリマスガ、併ナガラ是ガ相續開始當時ノコトカラ考ヘルト云フト、若シ留保ガナカクタナラバ全部相續人ニ行クベキ財產デアル、其當時ノ隱居サンノ債權者ト云フモノハ、留保財產ト相續財產ト合シテ、ソレカラ辨濟ヲ受ケル狀態ニ居ルノデアリマス、茲ニ破産宣告ガアルト、丁度相續開始當時ノ隱居サンノ財產全部ヲ相續財產ト同様ニシテ、此破産財團ノ中ニ組入レテ破産手續ヲ續ケテ行ク、其當時ノ隱居サンニ對スル所ノ債權者ガ、相續債權者トナシテ破産手續ニ參加スルト云フコトニナル關係上、留保財產モ破産財產ノ中ハ合セテ仕舞フ、ソレカラ二項ノ國籍喪失デアリマス、國籍喪失ノドキノ家督相續ノ場合ハ、相續財產ト云フモノハ言ハバ殆ドナイ、或ル僅ノモノデ、家督相續ノ特權トナルモノハ、勿論相續財產ニナルノデスケレドモ、是ハ殆ド破産手續ニ於テ承認スルコトノ出來ナイヤウナモノ、其他ノ財產ハ特ニ相續人ニ渡スト云フコトニナレバ別デスケレドモ、指定セザル所ノ財產ト云フモノハ、皆前戶主ガ持シテ居ル、即チ相續財產トナラヌト云フコトニナリマス、併ナガラ此場合モ矢張り相續財產ニ對シテ破産ノ宣告ヲスルニ付テ、其ノ國籍喪失者ノ全財產、其相續ハ開始當時ノ全財產、之ヲ押ヘテ即前戶主ニ對スル所ノ債權者ノ債權ノ辨濟ニ充テヤウト云フノガ第二項ニナル、十四條ハ是ハ大體ノコトヲ申上ゲテ置キマシテ、尙ホ御質問ニ應ジテ御答ヘシタイト思フノデアリマス、前ニチヨット一言シマシタヤウニ、相續開始ヲシテ破産宣告アルマデニ、相續人ト云フモノガ相續財產ヲ承認スルト云フ場合ガアルノデアリマス、ソレヲ承認シテ或ハ代金ガ手ニ這入ルト云フ場合ニハ、既ニ其相續開始當時ノ相續財產ノ形ハ失テ居リ、サウシテソレハ勿論破産宣告當時マデ明ニ相續人ノ財產、不動產ヲ一萬圓ニ賣タ、其一萬圓ノ金ハ相續人ガ處分ヲシテ得タ金ト云フヤウナコトニナルノデアリマス、默シテ居ルト、ドウ云フコトニナルカ分ラナイ、解釋ニ疑義ヲ生ズルカラ此顯著ナル一ツノ場合ヲ捕ヘテ、相續財產ハ處分セラレタケレドモ、其代リニ這入ル所ノモノ、今ノ場合ナラバ代金、第一項ナラ代金ノ債權ノ程度デス、其代金ノ債權ト云フモノガ例ヘバ今處分シタ不動產ニ代テ破産財團ニ這入ル、ソレカラ若シ代金ヲ支拂フ受ケテ仕舞フ時、ソレカラ後ニモ破産ガ起ル時、其代金ハ相續人ガ持シテ居リマスケレドモ、之ヲ破産財團ノ中ニ入レテ仕舞フ、併ナガラ例ヘバ不動產ヲ一萬圓買テ、一萬圓ノ金ヲ受取テ、ソレヲ使テ仕舞フ、殆

ト今ハ無イト云フヤウナ場合モナイトハ限リマセヌ、其場合ニ相續人ノ懷カラ、代テ財産ヲ一万圓出セト云フノハ是ハ少シク無理デアルカラ、尤モ惡意ナラ別デアルケレドモ、惡意ト申シマス、破産ノ原因タル事實、又ハ破産ノ申立アリタルコトヲ知リタル時、其時ニハ是ハ全部返スノガ當然デアリマスガ、左モナク善意デアル場合ニハ、丁度破産相續人ノ方ニ、相續人ガ現ニ受ケル例ヘバ一万圓ノ金ヲ五千圓使テ五千圓殘テ居ルトスレバ、五千圓ダケ破産財團ニ返セバ宜シ、斯ウ云フコトニナルノガ第二項デアリマス、ソレカラ第三項ハ例ノ留保財産、留保財産ヲ處分シタトキニハ其代金ノ債權ガ破産財團ノ十三條ノ關係デアリマス、處分シテ而シテ一部使テ代金ガ無クナテ居ル、減テ居ルト云フ場合ニハ、矢張り第二項同様其善意ト惡意トヲ區別シマシテ、破産財團ノ範圍ヲ定メルト云フコトニナルノデアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 以上ノ説明ガ終リマシタカラ、ドウゾ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵矢吹省三君 第六條ノ差押フルコトヲ得ザル財産ト云ヒマスノハ、民事訴訟法ノ規定以外ニモアルノダト思ヒマスガ、サウ云フ規定ノコトヲ全部聞キタイト思フノデスガ...

○政府委員(山内確三郎君) 差押フルコトヲ得ザル物件ト申シマス、先ヅ民事訴訟法ニ掲ゲテ居ルノガ主ナルモノデゴザイマス、併ナガラ他ノ法律ニモ差押フルコトヲ得スト規定シタモノガ澤山アルノデ、例ヘバ簡易保險ニモサウ云フモノガアッタト思ヒマス、其他イロンナ法律トカ或ハ恩給等ニ關係スル規定ニモアル、本則ハ民事訴訟法ニ掲ゲテ居リマスケレドモ、其以外ニモ澤山アルノデアリマスカラ、要スルニ法律ノ規定ニ依テ差押フルコトヲ得ザル財産、斯ウ云フコトニナルノデス

○男爵矢吹省三君 ソレカラ但書ノ五百七十條第一項ノ第四號及第七號ト云フ、是ダケハ差支ナク破産財團ニ加入ガ出來ルト云フコトデゴザイマスガ、其理由トシテハ先程御説明ガアッタヤウデスガ、モウ少シ承リタイ

○政府委員(山内確三郎君) 五百七十一條ノ第四號ハ農業者ノコトガ書イテアリマス、農業者ガアレバ農業上缺クベカラザル農具、家畜、肥料及ビ次ノ收穫マデ農業ヲ續行スル爲ニ缺クベカラザル農産物、是ハ訴訟法ニ於テ差押ヘルコトガ出來ヌヤウナコトニナル、之ヲ差押ヘルコト云フト、其本人ガ農業ノ繼續ガ出來ナイ、生活ガ出來ナイト云フ意味デ此差押ヘハ止メルコトニナル、勿論是ハ農業ノ範圍ノ大小ニ依テ、規模ノ大小ニ依テ、此第四ノ差押フルベカラザル財産ト云フモノハ、差ガアルダラウト思ヒマス、通常ノ場合ニ於テハ、農業ヲ繼續セシメル爲ニ差押ヘテ止

メルノデアリマスガ、若シ此農業者ガ破産ヲシタトカ云フトキニハ、恰モ商人ガ破産ヲシタト同様デ、其營業財産其モノヲ差押ヘナイナラバ破産ト云フコトノ意味ヲ爲サヌノデアリマス、例ヘバ商人ニ付キマシテモ、商人ガ破産スレバ其商業ヲヤメテ、全部其財産ト云フモノヲ差押ヘテ配當ニ充テルト云フノガ、破産ト普通強制執行ト違フ點デアル、農業ニ付テモ同様、農業ヲヤメサセテ、此農業ノ債務ト債權ト是ヲ「バランス」トテ、此所ニ破産ノ手續ヲ續クシナケレバナラヌカラ、結局其財産ト云フモノヲ押ヘナケレバ、破産ト云フモノノ意味ヲナサヌコトニナル、第七號ハ藥屋ノコトデアリマス、此方モ同様デ藥舖ノ權利義務ノ「バランス」ヲ取テ破産ト云フコトガ起ルノデアリマス、其義務ノ支拂ガ出來ナイトキニ、即チ破産ヲスルト云フトキニ、藥舖ノ財産ノ調藥ヲナス爲メニ缺クベカラザル器具及藥品是ヲ差押ヘルコトガ出來ナイト云フコトニナル、是亦破産ガ意味ヲ爲サナイコトニナル、斯ウ云フモノヲ詰リ極端ナル言葉ヲ以テシマス、破産破壞シテ始メテ破産ノ目的ヲ達スル、其代リ生活ノ方ハドウスルカト云フコトニナル、是ハ扶助料ト云フモノヲ破産財團カラ出サシメバナラヌ、而シテ此農業ナリ或ハ藥舖ノ問題ハ、債權者集會或ハ裁判所或ハ管財人ニ於テ、適當ト認ムル限リ農業ヲ自カラ破産財團ニ繼續スル、或ハ藥舖ノ繼續ハ他人ニ委託スルカ、或ハサウ云フ智識ノアル管財人ヲ置イテ、自ラ經營スルコト云フ場合モアル、併ナガラ要スルニ斯ウ云フモノヲ差押フルコトガ出來ナイト云フコトニナル、破産者ハ遂ニ破産スルコトガナイ、斯ウ云フコトニナルテ來ル破産ヲ止メルト云フマデニ、民事訴訟法ノ規定ヲ強ク働カスト云フコトハ理由ガナイト云フコトデ、此ニツダケハ民事訴訟法デ押ヘナクモ破産財團ノ中ヘ入レル、斯ウ云フコトニナル居リマス

○菅原通敬君 其點ニ付テ向ホ承テ置キタイ、此ノ民事訴訟法ノ五百七十條ノ第二項ニハ、縱令本人ノ承諾アル場合デモ、第四號第七號ノ如キモノハ差押ヘルコトガ出來ナイモノデアアル、本人ガ押ヘテ貰フモノハ差押ヘナイト云フコトヲ承諾シテモ、押ヘテハナラヌト云フ程、是ハ差押ヘスベキコトハ本人ノ生活上其他ノ爲ニ惡イ結果ヲ生ズルト云フコトニ依テ、公益上ドウシテモ押ヘテハナラヌト云ウテ制限シテアルモノダラウト思フ、殊ニ之ニ付テハ普通ノ強制執行ノ場合ニ於テモ差押ヘルコトハ出來ナイ、ソレ程マデニ堅ク之ヲ禁制シテ居ルモノヲ、縱令破産手續ハ嚴格ニ行ハナケレバナラヌモノデアアルト云フモノハ、破産法ノ上ニ於テ之ヲ差押ヘテ差支ナイト云フコトニナルト云フコトハ、エライ法制ノ上ニ於テ矛盾ガアルヤウナ虞ハナイカ、ソコヲモウ少シ...何故破産法ノ場合ニ於テノミ、是ハ差押ヘテモ差支ナイモノナリ

ト云フ取除ケヲシナケレバナラヌト云フ、其必要ナル理由ガマダドウモ足りナイ

○政府委員(山内確三郎君) 普通ノ強制執行ト云フノハ、詰リ其債務者ニハ他ニ財産ガアテ執行ガ出來ルト云フ頭デ、若シソレガ無イニシテモ、營業繼續ト云フモノヲ矢張りヤラシテ置カケレバナラヌト云フノガ本ニナル、然ニ農業關係即チ大キナ事業、例ヘバ大農ニ付テ之ヲ考ヘマス、其農業ハ大事デアアルカラ繼續サセナケレバナラヌカラ、其經營ノ爲ニ必要ノモノハ差押ヘナイト云フノガ本デアリマス、其農業關係デ債權、債務ノ...謂ハバ商人ノ營業ト同ジヤウニ、經營其モノガ造タ所ノ債權債務ノ「バランス」ヲ取テ、最早其營業ト云フモノハ繼續スルコトノ出來ナイ状態ニナル、居ル、其時ニ此農業上ノ關係カラ出來タ債權、債務ヲ「バランス」スルコトガ出來ナイト云フト、破産ノ目的ガ全ク爲サナイコトニナル、ソレデ通常ノ場合ハ、營業ヲ持續ノ意味ニ於テ細クモ立テ居リマスケレドモ、破産ノ場合ハ既ニ營業其モノノ「バランス」ヲ失テ居ル、ソレヲ潰スト云フコトニナルノデ、ソコデ大農...小サナ農民ダト非常ニ可哀想ナ場合モ起ルカモ知レヌガ、併シソコハ僅少ナモノデアアル、大農ノ場合ハ破産ハシタ、債務ハ拂ヘナイ、併ナガラ農業經營上必要ナルモノハ、農産物ニ至ルマデモ之ヲ差押ヘルコトガ出來ナイト云フト、農業ハ段々繼續シ裕カニナテ行キナガラ、而カモ債權者ト云フモノハ、今ノ其財産カラ取レナイ、斯ウ云フコトニナル、所謂農業者ニ對シテ破産禁止ト云フコトニナリハシイカ、破産ト云フモノハ「總テ業務繼續ト云フコトヲ潰ス状態ニ於テ破産デアアル、商人デモ同ジデアリマスケレドモ...若シイテナイト云フコトニナレバ、商業ヲ破壞レテサウシテ總テ債權者ノ損害ヲ無クシテ行カウ、減少シテ行カウト云フノガ元デアリマスカラ、ソレデ通常ノ場合ノ強制執行ト、即チ平和ノ場合ニ行ハレル強制執行ト、業務繼續不能ノ場合ニ財產ヲ全部清算スル場合トハ自ラ趣ガ違ハナケレバナラヌ、併シ此半面ニ生活ノ問題ト云フコトニナレバ、是ハ破産財團カラ必要ナル扶助料ヲ拂フト云フコトニナレ、生活ハ大事ナイケレドモ、農業繼續ト云フモノハ之ニ依テ中絶シテ總テ「バランス」ヲ取ルト云フノガ破産ノ趣意ダ、斯ウ云フコトニ申上ゲル外仕方ガナイ

○菅原通敬君 御説明デ一ト通り分リマシタガ、普通ノ此債權執行ノ場合ニ、強制執行ヲスルト云フトキノ如キ、矢張其本人ノ財産ノ有リト有ラユルモノヲ取ル、ソレニ依テ辨濟ヲサセルト云フ目的ニナランケレバナラヌノデアリマスカラ其場合ノ如キモ、若シ御説ノ通りデアラナラバ、農業者ノ農産物ノヤウナモノハ差押シテモ差支ナイ、差押スベキモノハ個人カラ取ルヤウニナルノデアアルガ、一方ノ普通ノ強制執行

ノ場合ト違フコトニナルト、是ト彼トノ間ニドウモ不和ガアルヤウニ見エルノデアリマス、ソコハマア意見ノ相違ニナリマセウガ、更ニ前二一ツ御尋ヲ致シタイノハ、華族ノ世襲財産ノ如キハ、是ハ差押フベカラザルモノトナッテ居ルノデアリマスカラ、矢張り是ハ差押ナイ方ニ御考ヘニナルノデアラウト思フガ、是モ普通ノ強制執行ノ場合ノ如キハ、差押ナイト云フコトニナッテ居ルガ、御説ノ通りニナルト此破産法ノ場合ニ於テハ、世襲財産ノ如キモ差押ヘヨシテモ差支ヘナイモノニナリハセヌカト思フ、破産ノ結果ハ身分上ノ變換ヲ惹起ス、或ハ華族ノ禮遇ト云フヤウナモノモ之ニ依テ停止サレルト云フヤウナ所迄、矢張り追求シテ行カンケレバナラヌモノニナル、差押ヘテモ差支ナイト云フ結論ニナリハセヌカト思フ

○政府委員(山内確三郎君) 此華族世襲財産ハ、元ノ法律ダト殆ト問題ハナイ、是ニハ絕對ニ差押ガ利カヌカラ問題ニナラナイ、大正何年デアリマシタカ、世襲財産法ガ改テ、其改マツテ結果ニナリマスルト、世襲財産ヲ差押フルコトガ出來ルコトニナッテ居ル、無條件ノ差押ハ利カヌノデアリマスレバ、世襲財産ヲ管理シテ負債ヲ生ジタ、即チ世襲財産管理ニ依リ生ジタ債權ノタメナラバ、世襲財産ヲ差押ヘルコトガ出來ルコト云フ明文ガ出來テ居ル、ソレカラモウツハ是ハ貴族院デ加ヘラレタモノニナッテ居ル、今ノ文モ確カ貴族院デ加ヘラレタモノ、例ヘバ華族ガ不法行為ヲシタ、其時ノ例ニ出マシタノハ自動車デ人ヲ轢キ殺シタ、斯ウ云フ不法行為ノ債務ハ他ニ辨償ヲスルモノガナイト云フトキニ、世襲財産ヲ差押ラレナイカラト云フコトニナッテハ、人道上如何デアラウト云フノデ、不法行為ノ原因トスルモノカラモ、華族世襲財産ハ差押ヘルコトヲ得ルノデアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマスカラ、本則トシテ差押ヘルコトヲ得ナイモノデアリマスレドモ、併ナガラ例外ノタメニ差押ヘルコトヲ得ルト云フコトニナッテ居リマスノデ、此六條ノ中ノ差押ヘルコトヲ得ザル財産ト云フ中ニハ、當然這入ラナイコトニナルノデス、併ナガラ其世襲財産ニカ、ルモノカ、レヌモノガアルト云フ、其ノ中間ノモノデアリマス、是ハ別ノ規定ヲ置キマシテ、別除權ノ所デ、華族世襲財産ハ破産財團ニハ特ニ屬セシメズニ置イテ、サウシテ世襲財産ニカ、ルコトノ出來ル債權者ハ、先ヅ世襲財産ヲ強制執行シテ來テ、ソレデ取レルダケ取レ、取レザルモノガアルナラバ、是ハ殆トアリママイ、若シアルナラバ殘額ダケヲ破産財團ニカ、テ來イ、斯ウ云フ風ニ特別ノ規定ヲ置イタコトニナッテ居リマス、ト云フノハ唯今ノ御趣意ニハ未ダ完全ニ答ヘテ居ナイヤウニ、今氣ガ付マシタガ、洗ヒ潔ヒ言ヘト云フ御趣意ニナリマスルト、此ノ世襲財産ヲ造ッテ先ヅ本則トシテ差押ヲ禁ズル所

以ハ、要スルニ華族ノ品位ヲ維持スルト云フ爲デアリマス、サウシテ差押ヘベカラザル財産ヲ造リ、之ヲ世襲財産トスル所ニハ、要スルニ是ダケノモノハドンナ場合ニ於テモ維持シテ華族ノ品位ヲ保持シテ行カウト云フノガ元デアリマス、破産ノ場合ニ於テ、世襲財産ハ本則トシテ差押ヘルコトガ出來ナイモノニナッテ居ラヌト、世襲財産ヲ造ッテ理由ト云フモノモ殆ト無クナリハシナイコト云フノデ、要スルニ此普通ノ人間ナラバ、破産ヲシテ財産ハ無クナルケレドモ、サウ云フコトニ惡意ナラズ、偶然ノ關係カラ破産ノ状態ニ陥ッテ居ル場合ニ世襲財産ダケハ保持シテ行カウト云フコトガ、寧ロ必要デアルト云フノガ、要スルニ其支拂不能等ノ場合ニ、通常ノ場合ナラバ破産ニ依テ、スガリ無クナル場合ニ於テモ、是ダケハ華族ノ品位ヲ保持シメヤウト云フ目的デ、本來アラウト思ヒマス、併ナガラサウ云フ場合ニハ、多クハ或ハ其華族ノ資格ガ無クナルヤウナ場合、ガアルコトガ多イダラウト思フケレドモ、破産ガ起ッテモ決シテ此華族ノ身分ヲ失フベキ場合デハ、是ハ天災デ咎ムベキモノデナイト云フヤウナ場合ニナリマスレバ、華族ト云フ名稱ハ依然トシテ之ヲ保持セルト云フコトニナレバ、其場合ニ於テ世襲財産ダケハ殘シテ置カヌト華族ノ品位ヲ維持スルコトガ出來、ナイト云フノデ、華族世襲財産ノ特別ノ趣旨ガシコニアルノデアリマスカラ、華族ノ名稱ガ無クナレバ是ハモウ世襲財産タル效力ガ無クナッテ、是ハ別ニナル

○菅原通敬君 サウスルト華族世襲財産ハ、差押ヘルコトヲ得ザル財産トハ見テ居ラヌト云フ……
○政府委員(山内確三郎君) 此中ニハ當然這入ラナイ積リデアリマス
○菅原通敬君 是デ別除權ノ特別規定ガ設ケラレテ居ルト云フコトヲ仰セデアリマスガ、ソコハドノ邊デアリマスカ
○政府委員(山内確三郎君) 九十七條ニアリマス、前段ニ於テハ、破産財團ニ屬セザル財産ニ付テノ特別擔保ノ權利マデ書イテ、後段ニ之ト同様ニ、華族世襲財産ヲ差押ヘルコトノ權利ヲ有スル者及ビ破産者ガ更ニ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ云々ト云フコトニナリマスノデ、世襲財産ノ方ニカ、シテ行ク譯デアリマス、ト云フコトヲ此所ニ書イタ譯デアリマス
○藤田四郎君 アノ六條ノ御精神デアリマス、其前ニ宣告ノトキノ財産ダケヲ破産財團トスル、從來ノハサウデナイ、其後ニ這入ル所ノモノモ、或ハ加ハルヤウナ御話ノヤウニ承リマシタガ、此六條ノシマヒノ所ニ、第二項ノ規定ニ依リ差押ノニ云々トアッテ其シマヒニ、破産宣告後差押フルニ至ルト云フコトガアリマス、斯ウ云フ御精神カラ見マスルト、例ヘテ申セバ其宣告ノトキニハ財産ハナクとも、其後特別ニ人カラ金ヲ貰ッタトカ、斯ウ云フモノヲ得タトカ云フヤウナ、或ハ特別ニ人カラ、一寸言ヘバ賞與ミタヤウナモノヲ貰フト云フヤウナコトガアッタトキハ、之ニ加ハッテ宜ササウニ思フノデスガ、ドウ云フモノデゴザイマセウ、此精神ヲ見ルト、既ニ差押ヘルコトノ出來ナイモノデモ、ソレニ代ハルヤウナモノガ這入ッタトキニハ、前ニ差押ヘルコトノ出來ナイモノモ差押ヘルト云フ意味デアルト、宣告ノ時ニ無イ物デモ人カラ貰ッテ得タト云フコトガ起レバ、矢張り終結前ナラバ加ヘテ宜ササウニ思フノデアリマスガ、是ハドウ云フモノデアリマセウカ
○政府委員(山内確三郎君) 二項ノ末段、是ハ矢張破産宣告當時ニ、破産者ガ有シテ居ル所ガ破産宣告當時ニハ差押フルコトヲ前提ニ致シテ居ル所ガ破産宣告當時ニハ差押フルコトガ出來ナカッタト云フノハ、或ハ民事訴訟法、先刻菅原委員カラ引カレタ、債務者ノ承諾ガナレバ差押ガ出來ナイ、宣告當時ニハ承諾シテ居ナカッタガ、事後承諾シタト云フヤウナ場合ニハ、破産財團ニ屬シテ居ルモノヲ、當時ハ差押ヘルコトガ出來ナカッタケレドモ、後ニ差押ヘルコトガ出來ルニ至ッテ、斯ウ云フコトガ六條ノ第二項後段ノ趣旨デアリマス
○藤田四郎君 ソコハ能ク了解シテ居リマスガ、先日御話シニナリマス破産ト云フモノニ對シテ決定ヲスルニハ、其人ノ信用ヲモ見ルト云フヤウナ御話ガアリマシタ、サウ致シマスルト、其信用ト云フモノノ、即チ其信用ニ依ッテ得ル所ノ力ト云フモノガアルノデアリマスカラ、サウスレバ即チ其時ニ得タ所ノ現在宣告ノ時ニアル財産以外ニ、將來其人ノ力デ得ベキモノガアルデアラウ、其得ベキモノガ終結前ニ這入ルコトナラバ、矢張り是ハ此例外ニ入レテ、矢張り破産財團ノ中ニ加フベキモノデハナカラウカ、即チ御說明ニナリマシタ現行ノ法律ノ意味ニ、私ノハ近イカ知レマセヌガ、サウ云フ意味ヲ以テ御尋シタデアリマス
○政府委員(山内確三郎君) 能ク承知ヲ致シテ居リマスガ、サウ云フ次第デ此六條ハ通ジテ破産宣告ノ時ニ有スル財産ト云フモノモ破産財團ノ一ツデアル、ソコデ其精神ハ後ニ財産ヲ取得スルト云フ場合ガ起ルノハ、唯今藤田サンガ言ハル、ヤウニ、後ニ財産ノ寄付ヲ受ケル、贈與ヲ受ケルト云フヤウナコトガ、ソレカラ宣告ノ後ニ相續シテ財産ヲ受ケルト云フノガ、ソレガ重ナモノデアリマス、サウ云フ場合ノ外ハ餘リ想像モ私共ハ致シテ居ラス、然ニ此破産宣告當時ノ財産ヲ以テ破産財團トスルト云フコトニ致シマシタノハ、債權者ハ破産宣告ノ時ニ債權者ニナッテ居ルモノデナレバ、破産手續ニハ加ハレナイト云フコトニナル、サウ云フ次第デアリマスカラ、例ヘバ今ノ相續ノ例ヲ取リマスレバ、破産宣告後ニ相續ガ起ル、斯ウ云フコトニナルト、先代ノ債務

ヲモ併セテ相續シタ、是モ見ナケレバナラス、即チ先代ノ債權者ト云フモノハ、相續ニ依テ相續人ニ對スル債權者トナテ居ル、サウ云フ債權者ハ破産宣告ノ時ニハ債權者デハナイノデアリマス、是ハ破産財團ニ加ハテ配當ヲ受ケルコトハ出來ナイ、サウ云フコトニナルト、相續ガ後ニ起ル其積極財產ハ同ジ破産財團ニ組入ル、ソレヲ分取リスルモノハ破産宣告前ノ債權ノミ分取ルノデアリ、先代ノ債權者ト云フモノハ、非常ノ損失ヲ受ケルサウ云フ次第デアリマス、破産宣告デソレヲ打切テ、積極財產モ消極債務モ、其當時ヲ本ニシテ財產ヲ分ケル、ソレカラ後ノ財產ノ始末ハ更ニ寧ロ破産宣告後ノ債權者ノ方ガ、主トシテ利益ヲ受ケルノデアリマス、是ハ他ノ債權者即チ破産宣告後ノ債權者ノ權利ヲモ併セテ擔保スルト云フ意味デ、茲デ打切ルコトニナリマス、即チ債權ト債務ト「バランス」ヲ取ル時期ヲ標準ニシテ、ソレデ以テ分ケテ行ク、後ニ財產ヲ造ルコトガアルト御議論ノ通り茲ニ信用ト云フモノガ出來ル、此場合ハ要スルニ破産ヲ廢止スル、既ニ破産ヲ宣告シテ居リマス、破産ヲ廢止シナケレバ破産ハ終ラヌノデアリマス、後ニ財產ガ出來ル場合ニ破産ヲ廢止シテ、スガカリ元ニ返ヘサウト云フコトハ別デアリマス、破産ノ手續ヲ實行シテ行ク以上ハ、債權者ヲ限定シテ同時ニ債權者ノ擔保ノ範圍ヲ限定シナイト、後ノ債權者ヲ害スルコトニナリマス、サウ云フ意味デ茲ニ破産手續ノ遂行ニ關シテ、斯ウ分ケテデアリマス

○男爵矢吹省三君 只今ノ民事訴訟法ノ五百七十條デアリマス、此五百七十條ノ第三號ハ差押ノ出來ヌ財產ノ方カラ見テ居ル、其趣旨ハ了解イタシマシタガ、サウ致シマス、此五百七十條ニハマダ外ニ第三號ノ如キモノガアリマス、又第五號ノ加キモアリマス、是ハドウ云フモノデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ農業ノヤウナ財產關係ト違テ、主トシテ技術者デアリマス、技術者ノ技術上ノ事柄、ソレカラ勞役者ト云フ全ク身ヲ以テ勤ク、農業ノ經營ノコトハ破産財團ノ中ニ入レテ之ヲヤリマシテモ、技術者例ヘバ繪ヲ描クモノノ筆ヲ取上ゲル、ソレカラ職工ノ例ヘバ鶴嘴ヲ取上ゲルト云フヤウナ、其ノ他穩婆モサウデアリマス、自カラ身ヲ以テ勤クモノノ働キ迄止メルト云フコトハ、是ハ少シ無理デハナイカ、所ガ農業ノ方ハ全ク、財產經營デアリマス、此財產關係ヲ茲ニ解除シテシマフト云フコトダケデ、其間ニ自ラ區別ガアルト云フ考デアッノデアリマス

○菅原通敬君 先刻藤田君カラ御尋モアリマシタガ、破産宣告後ニ得タル財產ノ如キ、矢張り破産財團ニ編入シテモ差支ナイデハナイカト云シ御説ニ對シテ、色、御説明モアリマシタ、能ク分ッタノデアリマス、前ノ草案ニハ……マア現

行法ニ於テモ、草案ニ於テモ、破産手續上ニ歸屬シタル財產ハ破産財團ニ編入スルト云フコトニナテ居ラヌ、若シソレヲ破産財團ニ入レナイト云フコトニナリマス、前ノ破産手續續行中ニ、又第二ノ破産手續ヲ促サヤウ場合ヲ生ズルト云フノデ、寧ロ手續上煩瑣ニナルト云フヤウナ虞ガナイノデアリマス、カ、イ、其邊モチヨット御研究ニナタモト思フノデアリマス、其邊ノ所ヲ伺フテ置キマス

○政府委員(山内確三郎君) 小サイ財產ナラハ大シタ問題モ起リマシタ、唯今相續ノ例ヲ取リマシタガ、相續ノ場合ニ茲ニ財產ガアツテ、ソレニハ債務ガ附イテ居ル、ソレガ破産状態ニ陥ルコトニナルト、所謂第二ノ破産ヲシナケレバナラスコトニナル、第二ノ破産ハ此案デハ認メルト云フコトニシマシテ、一人ニシテ第一破産第二破産ト、二ツ破産ノ手續ガ行ハレルト云フコトハ、主義ヲ認メタノデ、サウシテ第一破産ノ債權者ハ、第一破産財團カラ取テ殘ルモノデナケレバ第二破産ニハ掛カレナイト云フノデ、別除權、華族世襲財產ノコトヲ書イタ所ニ、矢張り明カニ規定ヲ以テ其趣意ヲ定メテアルノデアリマス

○菅原通敬君 一身ニ專屬スル財產ト云フヤウナモノハ、破産財團ニ加ヘルトカ、加ヘナイトカ云フ議論モアル、ソレハ矢張り差押ヘテモ差支ナイ、破産財團ニスルモ差支ナイト云フ……

○政府委員(山内確三郎君) 一身ニ專屬スルモノト云フコトハ、隨分方々ニ規定ガアリマス、甚ダ明確ナラザルモノガアル、一身ニ專屬スル財產ヲ差押ヘルコトニナレバ、法律ノ趣旨ニ依テ差押ヘテ禁止居ルモノモアル、直接禁止スシテ處分スルコトガ出來ナイト云フコトヲ以テ禁止居ルモノモアル、民法ノ債權ニ付テモ一身ニ專屬スル所ノヤウナ趣旨ノ言葉ヲ以テ、讓渡ハ出來ナイトナテ居ル、法律ガ讓渡ヲ禁止居ルモノモアル、法律ガ讓渡ヲ禁止居ルモノハ、同時ニ是ハ民事訴訟法ノ精神ニ於テ差押ヘルコトガ出來ナイモノト云フ解釋ヲ取テ居リマス、併ナガラ法律ガ何ト云ヒマス、強制規定ヲ以テ讓渡ヲ禁ズルモノト云フヤウニ明確ニナラナケレバナラス、是ハ諸般ノ法規ノ解釋デアリマス、其意味デ一身ニ專屬スルモノト云フコトヲ解釋スレバ、結局差押ヘルコトヲ得ザル財產デアル、華族世襲財產ノ中ニモ成ルダケナラ差押ヘルコトヲ得ズ、處分スルコトヲ得ズト云フコトヲ列ベテ書イタル、條文ニハサウ列ベズトモ宜カラウ、讓渡スルコトヲ得ズトシ、即チ同時ニ差押ヘテスルコトガ出來ナイト云フコトヲ同法律ノ中ニ書イタモノモアル、要スルニ一身ニ專屬スル權利ハ、其意味ニ於テ差押ヘルコトヲ得ザル財產ニ屬スルモノガ多カラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○藤田四郎君 十四條ヲ御尋ネシテ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

○藤田四郎君 十四條ノ三項デゴザイマス、其場合ニ相續人ガ其破産ノ申立等ヲ知ラザル場合ニハ、其受ケタ財產ヲ處分シタモノハ、使テ仕舞テモ返サシヤイ、斯ウ云フヤウニ御説明ヲ承テ、ノデアリマス、サウデゴザイマス

○政府委員(山内確三郎君) 結局善意ノ相續人ノコトデアレバ、第十四條ノ第二項ノ場合、其場合ニハ法文ノ事柄ヲ以テスレバ、現ニ受ケル利益ヲ返還スルモノトシテ、相續人ガ財產中ニ殘テ居レバ返サナケレバナラス、殘テ居ナイナラ返サヌデモ宜イ、斯ウ云フコトニナル

○藤田四郎君 サウ致シマス、例ヘバ財產相續シタモノヲ、其物ヲ賣テ仕舞テ金ニシテ飲ミ食ヒヲシテ仕舞、タト云フモノモ、矢張り返サヌデモ宜イト云フコトニナルノデス、カ

○政府委員(山内確三郎君) ソレガ全ク善意デアルトスレバ、宜イト云フコトニナル、ト云フノハ相續人ト相續財產ト云フコトデ、破産宣告ガアレバ、茲ニ分レノデアリマス、相續人ハ相續ヲシテ仕舞、マア普通ハ知ラヌト云フコトハアリマス、マイケレドモ、親父ガソナナ負債ナドヲ殘シテ、破産ニ陥ラナケレバナラスト云フ事情モ知ラズ居ラト云フコトヲ假定スル、ソコデ相續ガ起ララ所謂自分ノ財產ト云フノデ或ハ、色、ナ財產ヲ處分シ、或ハ書畫等モ賣ルト云フヤウナコトデ、金ニ換ヘルヤウナ場合ガアラウト思フ、ソレハ全ク相續人ガ自分ノ財產ヲ自分デ處分シテ居ル、所ガ突然見テ見ルト、破産状態ニ陥テ居ルト云フコトニナル、皆ソナナ吐キ出サナケレバナラスト云フコトニナル、茲ニ混亂ヲ財產處理ノ上ニ生ズルノデアリ、若シソレデモ自分ノ財產ヲ以テシテモ、ドウシテモイカヌト云フコトニナレバ、是ハ結局相續人ハ破産シナケレバナラス、状態ニナラウト思フ、サウ云フ次第デアリマス、債務ニ付テハ相續財產ト云フモノハシナイ相續人ノ破産ヲスルニ付テハ相續財產ト云フモノヲキツ決メル、相續財產ガ相續人ノ手ニ流込デ居レバ其流込シタモノダケヲ取ル、唯惡意ノ場合ノ場合ハ之ヲ辨償サセルト云フコトデアリマス

○藤田四郎君 限定承認ト云フヤウナ事柄ガアルコトダカラ、相續シマシタキニ裁判所ニ訴ヘラレテ居ルトカ、又ハ色、催促ヲ受ケテ居ルトカ云フコトガアレバ、是モ限定承認スルト解釋サレララウト云フ評判グラキナ時ハシナイ場合ガアル、而シテ其場合ニ於テソレヲ自分ガ勝手ニ使テ仕舞、置イテ、サウシテソナナト云フ、自身ニ財產ノ有ル人デアルト云フ場合デアタトキニハ、是モ矢張り自分ノ財產カラ出シテ飲食ヒノ費用ト云フモノヲ償ハナケレバナラスモノデハナイカ、ソレヲ自分ノ財產ガ無いノデアルト云フナラバ、或ハサウ云フ御議論モ立デアラウト思ヒマス、又假令今御

前シノヤウナ御趣意ニ致シマシテ、現ニ受ケル利益ヲ返還スルヲ以テ足ルト云フデケレハ、チヨト諒解シニクヒヤウニ思ヒマスガ、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 相續人が財産ガ有ルト云フ場合ヲ想像シテ、茲ニ相續ヲ開始シテ居ル場合ナラバ、先ヅ債權者ノ方カラハ、相續人が全部破産ヲシナケレバ掛カレナイ、或ハ破産ヲシヤウトシテ相續人ノ財産ヲ取上ゲヤウト云フナラバ、相續人ニ對シテ全部ノ破産申請ヲシヤウ、斯ウ云フコトニナル、此場合ハ債權者ガ、相續人ハ財産ヲ持ッテ居ルケレドモ、免角相續財産ダケ引離シテ一ツ破産ヲスル、相續人ノ方ハ後ニシテヤウト云フノデ、相續財産ダケ引離シテ債權バカリ引離シ、其相續財産ノ範圍ヲ明カニシテ置ク、勿論其場合ニ足ラナケレバ相續人ト云フモノハ矢張り責任ヲ負ハナケレバナラヌ、相續人自ラ破産シナケレバナラヌ、是ハ債權者ノ自由デアリマス、先ヅ一應分離シテ破産シヤウカ、或ハ全部ニ掛ラウカ、ト云フ債權者ノ選擇ガアリマシテ、ソレデ債權者ノ方カラ相續人ノ方へ、相續人ヲ一先ヅ相續財産ダケ引離シテ置イテサウシデ處理シテ貰フト云フ場合デアリマスカラ、是ハ相續人ニ利益サセルト云フ意味ヨリカ、相續財産ノ範圍ハ先ヅ此程度ニ止メヤウト云フデケレハ、財團ノ定メダケノ手續デアリマス

○藤田四郎君 御趣意ハ分リマシタガ、債權者ノ方ハ自ラ自分ノ利益ヲ薄ラゲテ請求スルト云フヤウナ風ニナルデスナ、誰モ債權者ノ方デハ若シ相續人が財産ノアル人デアッテ、先代ノ財産ダケニ制限ヲ附ケテ、サウシテ破産ノ手續ヲスルト云フコトハ、自ラ自分ノ債權ヲ弱クシテヤテ行ク場合ニナツテ、實際ハ有リ得ベカラザルコトデハナイデセウカ、若シ今ノ様ナ御説明デアルト、殆ドソノ區別ヲスル必要ハナイヤウニ思ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 今ノヤウニ相續人が澤山金ヲ持ッテ居ルヤウナ場合ニ、相續債權者ノ方カラ之ヲ引離スト云フ場合ハ、殆ドアリマセヌ、先ヅ是ハ二ツニ分ケテ考ヘナケレバナラヌ、相續人ノ財産ト云フモノハ、誰ノ利益カ、相續財産ハ誰ノ利益カト云フコトニ見ルト、財産ヲ二ツニ分ツニハ先代ノ債權者ノ方カラ相續財産ニ掛カレ、相續人ニ財産ノアル時分ニハ、相續人が元カラ財産ニ掛レト云フノデ、兩方ノ利害關係ガ二ツニ分ケラレテ居リマス、ソコデ先ヅ相續債權者カラ破産ヲ申請シヤウト云フトキニ、相續人が大變負債ヲ持ッテ居ル、相續財産ヲ引離シタガ、ソレデモ足ラヌケレドモ、未ダ其相續債權者ノ方ガ十分ナ配當ガ受ケラレ、ソコデ相續債權者ノ方ハ、相續人ニハ多少財産ハアルケレドモ、結局先代カラ受ケタ相續財産ヲ引離シテ破産宣告ヲシタ、斯ウ云フコトニナル、其時ニ相續財産ニ

流レ込メテモ、ソレヲ使ッテ使ハヌノ問題デアリマス、例ハ一萬圓這入ッテモ、ソレヲ五千圓ニシテ了ッタルコト云フモノニ、一萬圓取ラレト、相續人ノ債權者ノ方ガ大變迷惑スル、ソレデ此財産ハ免ニ角二分シナケレバナラヌト云フノデ、之ヲ二分ニスルニ付テ、相續債權者ノ方ハ先ヅ引離ス方ガ宜イト云フトキニ、此相續人ノ利益ヲモ考ヘル、サウシテ流レ込メ現在殘ッテ居ルモノヲ、相續財産ノ中ニ入レト云フ趣意デアリマス

○藤田四郎君 良ク分リマシテゴザイマス、サウ致シマス、尙ホ文句ハドウデセウカ、現ニ受ケル利益ヲ返還スレバ、其受ケタ所ノ或ハ物ヲ賣ッテ得タ所ノ金、其金ヲ使ッテ、人ニ呉レタリシタ後ノ金ト云フ意味デスナ

○政府委員(山内確三郎君) サウデス

○藤田四郎君 受ケタル利益ダケデ、ソレデ通ジマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ民法ニ度々使ハレタ文字デアリマシテ、現ニ受ケタル利益ト云フコトニ付テモ、始メテ使ッテラボンヤリシマセウカ、今日ハ解釋上、殆ド爭ヒナク済ンデ居リマス

○藤田四郎君 ソレデアレバ宜シウゴザイマス

○菅原通敬君 第十二條第二項(被相續人ガ相續人ニ對シヌハ相續人ノ財産ノ上ニ有シタル權利及相續人カ相續財産ノ上ニ有シタル權利)トバカリアリマシテ、其相續人が被相續人ニ對シテ有シタル權利ト云フコトヲ書イテナイ

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ書キマシタ説明書ニハ斯ウ云フ文字ヲ使ハズニ書イテマシマスガ、此趣意ハ是ハ這入ッテ居ル積リデアリマス、速記ヲ止メテ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ始メテ……如何デセウカ

○男爵矢吹省三君 第八條デ伺ヒマス、先程ノ御説明デハ被相續人即チ相續財産ニ付テ、非常ニ債務ノ多い場合ヲ想像シテ、此規定ガ出來タヤデアリマスガ、サウデナクテサウ云フ債務ノ件ハ、財産ノ場合モ随分多カラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ場合ニ、却チ破産財團ニ入レタガ債務者保護ノ爲ニ宜ラウト思ヒマスガ……

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ限定承認ト言ヒマシテ、財産ノ方ハ全部這入ッテ來ルノデアリマス、併ナガラ先代ノ債務ノ方ハ、這入ッテ來ルノデアリマス、併ナガラ先代ノ債務ノ方ハ、這入ッテ來タ財産限リト云フコトニナリマスカラ相續人ノ財産ニ這ハ掛カルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ結果ニナリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、若シ限定承認ノ效力ヲ認メテ、而モ負債ガ餘リ無カッタ、財産ノ方ガ多イト云

フヤウナ場合ニナリマス、其財産ダケ先代ノ債務ヲ拂ッテ殘ル、ソレハ殘タ儘結局相續人ノ破産財團ニ這入ッテ行クノデ、ソレハ得ニナル、サウ云フ次第デアリマスカラ、此爲ニ損ヲスル得マスルト云フコトハ、決シテ起ラナイ積リデアリマス、只債務ノ多イトキニソレ迄ニ掛カル譯ニ行カヌ、斯ウ云フ趣意デアリマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デセウカ、モウ十二時少シ前ニナリマシタカラ、是デ一遍休憩ヲ致シテ、午後一時半カラヤッテ頂キマセウ、ソレデハ是デ休憩致シマス

午後一時四十八分休憩

午後一時三十八分開會

○委員長(伯爵松平賴壽君) 午前ノ會議ニ引續キマシテ、是ヨリ委員會ヲ開キマス、第二章ノ方ハ如何デアリマセウカ、モウ少シ御質問ハゴザイマス

○藤田四郎君 是デ質疑ハ打切りニ願ヒタイト思ッテ居リマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソンナラバ第二章ハ終リマシタモノト致シテ置キマシテ、第三章ノ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス、第三章ハ色々箇條ガゴザイマスヤデアリマスカラ……

○藤田四郎君 十ヶ條位デ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) 二十一條デ一ツ切りマシテ、又先キハ順々ニ追ッテ參ッテ如何デアリマセウカ

(二)異議ナシ(下呼フ者アリ)

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ二十一條マデノ所デ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 此第三章ハ破産債權ニ付テノ規定デアリマス、先ヅ第一番ニ破産債權ト云フノハドウ云フモノデアリカ、第二ニ破産債權ハ如何ナル金額ニ付テ行ハレルカ、第三ニハ其行フ權利ノ順位以下ニ此三段ニ分テ規定シテ、更ニ破産債權トナラザル債權者ハドウ云フモノデアリカト云フコトヲ、附加ヘテ規定ガシテアルノデアリマス、其破産債權者ハドウ云フモノデアリカ、破産債權即チ破産財團ニ對シテ其權利ヲ行フコト、即チ配當ヲ受クルコトガ出來ル者ハドウ云フ債權ニ限ルコト云フコトガ、第十五條ニ規定スル所デアリマス、是ハ度々前ニ此條文ノ趣旨ハ引イテ御説明ヲ致シタ次第デ、理由書ニ書イタゲデアリマス、附加ヘルモノハ澤山ハナイノデアリマス、唯此十五條ノ破産者ニ對シマス、ト云フコトハ、少シク意味ガアルノデス、例ヲ取りマス、前ニ問題ニナリマシタ破産宣告後ニ相續ガ開始ヲシタ、サウ云フ場合ヲ考ヘマス、其相續ノ結果、破産者ハ相續ヲシテ、先代ノ債務ヲ承繼グコトニナルノデアリマス、然シソレハ先代ニ對シテ生ジテ居ル債權デ、破産宣告前

貴族院破産法案外一件特別委員小委員會會議事速記第三號

破産者ニ對シテハ、未だ債權ガ生ジテ居ナイ、故ニ破産宣告後相續ニ依テ承繼シタル如キ債務ハ、本當ノ所謂破産債權者ニ對シテ生ジタル債權ト云フコトガ出來ナイコトニナリテ居ル、此點ハ特ニ一言イタシテ置キタイ次第アリマス、十六條ハ、破産債權ハ必ズ破産手續ニ依テ行フコトヲ得ル、其ノ方法ニ依テ行フコトガ出來ルノデアル、ソレカラ十七條、是ハ其特別ノ規定デ、現行法ニモアルノデアリマス、破産ノ宣告ガアレバ直チニ其財産ヲ管理シ換價シテ、是デ配當シナクハナラヌト云フコトニナルノデアリマス、カテ期限ニ付テ債權ヲ、期限ノ至ルマデ待テ配當スルコトニナルト、期限附債權者ハ損ヲスルノミナラズ、多クノ債權ガ破産宣告當時ニ期限ニ至ラザルモノガ大部分アラウト思ヒマス、サウ云フノハ總テ期限ノ上ニ於テハ打切テ、破産宣告ノ時ニ辨濟期ニ係タモノトシテ、直チニ配當ヲ要求スルコトガ出來ルト云フ趣旨ニナル、十八條ハ甚ダ御説明ヲ申上ゲルニ困難ナ規定デアリマス、債權ガ無利息債權デアル、假ニ一萬圓ノ債權トシテ例ヲ舉ゲマス、サウシテ其期限ガズト破産宣告後ニ到來スルト云フコトニナリテ居リマス、十七條ノ結果、期限ハ破産宣告當時ニ至リタルモノト看做スト云フコトニナリマス、直チニ破産宣告當時ニ於テ其債權額ト云フモノガ、茲デ一萬圓ニ極メシマツテ、其一萬圓ヲ標準ニシテ配當ヲ受クルト云フコトニシマス、若シ無利息債權デアルトシマス、期限ヲ待テ受クルノ期限前ニ受取ルノ同額デアル、同額ガ標準ニナルト云フコトニナリマス、債權者ト云フモノハ稍得ヲスルコトニナル、ト申シマスノハ、利息ノ附イタ債權デアルト、利息ハ破産手續ニ於テハ取レナイ、後ノ方ノ所謂破産債權トシナイモノノ一ツトシテ破産宣告ノ後ハ利息ハ取ラセナイト云フコトニシテ居リマス、サウスルト無利息ノ債權ノ方ハ之ヲ割引スルノデアリマス、其割引ノ方法ハ十八條ニ定メタルコトニナル、ソレデドウ云フ風ニシテ割引ヲスルカト申シマス、先ヅ法定利息民事ナラバ五分、商事ナラバ六分、此ノ法定利息ヲ標準トシテ割引ク、ソレガ若シ一萬圓ノ債權ト致シマス、一萬圓ノ債權ノ期間ノ時ニ全部受取ルモノトシテ、ソレヲ今受取ルト云フ計算ニナリマス、年五分ノ利息附債權ト假ニスル、年五分ノ利息附債權ニシテ、其利息ト元本トヲ合セテ見ルト、丁度一萬圓ニナルト云フ計算ヲ立テ、期限ニ一萬圓ト云フモノガ手ニ這入ル、之ヲ利息附債權ニシテ、先ヅ茲ニ破産債權ト云フモノガ出來テ、破産債權ニ利息ノ附イタモノト計算シテ、其利息ニ當ルダケヲ引イテシマフ、サウ云フ計算ニシテ、其利息ニ當ルモノダケハ丁度破産債權トセズシテ、割引ヲシテ、假定ノ元本ト云フモノヲ破産債權額トスル、斯フ云フコトニナル、ソレカラ其次ノ十九條モ同

一趣旨デアリマシテ、是ハ十八條ノ適用ニ過ギズ、定期金債權、一年ニ千圓ツ、デ、十年間結局一萬圓、斯ウナリマス、是ハ一年ノ例ヘバ終リ終リニ取テ行クト云フコトニナルカラ、各債權ハ期限附ノ「無利息債權」ト同ジコトニナリマス、各定期金ノ十八條ノ規定テ割引ヲシテ、ソレヲス、カリ合シタモノヲ以テ債權ノ全部トスル、即チ第一年目ノ千圓ハ一年ダケノ利息ニ割引ヲシ、二年目ニハ二年ダケノ利息ヲ割引ヲシ、順次ニシテ例ヘバ十年目ニ定期金ノ總額トシテ配當ノ本トニシテ支拂フト云フコトニナルノデス、サウシテ若シ、併ナガラ其定期金ガ大變長イ間アルト云フコトニナルト、之ヲ割引シテ合算シテ額ヲ出シマシテ、其金額ヲ假ニ銀行カラ銀行ヘ預ケタト假定スル、法定利子ガ付クトスル、サウスル年々受取ル法定利息ノ方ガ却テ多イ割引シテ計算シタモノヨリハ、其總額ニ對スル法定利息ノ方ガ多イト云フ結果ガ生ズルト云フ場合ガアレバ、其時ニハ法定利息以上ヲ取ラセル必要ハナイカラ、丁度定期金ハ利息ダケヲ定期金ニシテ置イテ、サウデアリマセヌ、利息ダケヲ定期金ニスルト云フノハ間違ヒデ、丁度年金ニ代ハル、年五分ノ利息ガ丁度割引シテ總額ヲ先ヅ假ニ銀行ニ預ケルトスル、定期金以上ノ利息ガ出ル、サウ云フ場合ニハ、サウデヤナイ、以上ノ利息デハアリマセヌ、此金ヲ預ケルト法定利子以上ニ定期金ガ出ルト云フ場合ニハ、先ヅ其法定利子マデニ之ヲ削減シマシテ、サウシテ其元本額ノ丁度法定利子ハ利子ダケニスル、例ヘバ定期金ヲ皆合セマシテ一萬圓ト假ニナス、然ニ一年ニ付テ例ヘバ五分トシマス、五百圓ノ利子ヲ取ル、處ニ其ノ定期金ノ方ダケト云フ、五百圓ヲナリ、四百圓ト假定シマス、ソレダケ削減シテ元本額ヲ決メタイト云フ趣意ナリマス、錯雜シテ居リマス、カテ向御質問ニ際シテ或ハ式デモ立テテ申上ゲタ方ガ解リヨイカ知レマセヌガ、所ガ今ニ付テハ期限ガ存續期間定期金ニ付テハ、或ハ十八條ノ分ニ付テハ期限ガキト決テ居レバ宜イ、十八條ノ分ニ付テハ考ヘマス、例ヘバ期限ガ一年後ニ來ルト云フコトガ決ッテ居レバ宜イノデスケレドモ、或ハ是ガ其不確定期限ガ附イテ居ル、例ヘバ死シタ時ニ拂フカ云フヤウナコトニナリテ居リマス、ト云フ、一寸十八條ニ依ル所ノ割引ト云フモノガ出來ナイノデ、十八條ノ宣告ノ時カラ期限迄ノ法定利子ヲ本ニシテ計算スルノデアリマス、期限ガ決ッテ居ナイト割引ノ本ガ決マラナイノデアリマス、此場合ニハ通常ノ評價ヲシテ結局ハ鑑定ト云フコトニナルノデアリマセウガ、評價額ヲ定メテソレヲ破産債權ニスル、十八條ニ依ルコトガ出來ヌカラ、又十九條ノ定期金ノ分ニ付テモ、存續期間ガ不確定ダトカ、或ハ定期金ノ金額ガ一定セズニ居ルヤウナ場合モ生ジマス、デスカラサウ云フ場合ニハ是ハ皆評價ニ

依テ凡ソ幾ラニスルカト云フコトヲ定メル、ソレカラ又段々込入ッテ規定ニナッテ來マスガ、二十一條、是ハ後ノ方ノ規定ト合シテ考ヘナクハナラヌノデゴザイマス、先ヅ十八條ノ其利息ノコトニ付テ、無利息債權ノコトニ付テ考ヘマス、普通ノ破産ノ場合ナラバ割引シタ金額ハ破産債權トシテハ取ラセナイ、或ハ又利息ガ附イテ居ルモノデ、後ノ方ノ規定デソレヲ破産債權トシナイト云フコトニナリマス、利息ハ全部取ラセナイト云フノデハナクシテ、破産手續ガ濟ンダ後ニ更ニ其利息ト云フモノハ之ヲ拂ハナクハナラヌ、財產ガ破産者ニアレバ、ソレカラ割引サレタ金額モ結局拂ハナクハナラヌ、所ガ法人ハ破産ヲスル、サウスルト其割引額、或ハ利息附債權デアルハ利息、是ハ破産手續ノ後ニセラレルト云フコトニシマシテモ、法人ハ既ニ解散ラシテ仕舞フ、サウ云フ次第デアリマス、カテ若シ財產ガ殘ラシテ仕舞フ、割引額ナリ、或ハ後ノ利息ナリ、殘タ財產カラ矢張り配當ヲシナクハナラヌ、サウ云フコトニナリマス、詰リ利息附債權ニ付テ考ヘマス、一萬圓ノ元本ヲ拂ッテ配當シテ仕舞タ、全ク無クナタ、サウシテ財產ガ少シ殘ッテ居ル、ト云フ時ニ今度後カラ利息ハ拂ハナクハナラヌ、全然法人ノ利息ノ責任ヲ免レル譯デアリナラヌ、サウスルト詰リ元本ニ付テ先ヅ配當シ、利息ハ利息デ集メテ又更ニ配當ヲシナクハナラヌト云フコトニナリマス、サウ云フ場合ニハ法人ニ付テハ詰リ割引モシナイ、十八條ノ割引モシナクハナラヌ、全部ノ割引モセズ、二十條ニ依ル評價ニ依テ割引モセズ、全部ノ破産債權ニスル、破産債權トシマスレバ、今ノ割引シタ金額ナリ、或ハ破産宣告後ノ利息ノヤウナモノハ、外ノ債權ト一緒ノ順位デ取ラシテハイカヌカラ、之ヲ後ラシテ取ラセテ破産財團カラ取ラセルノデアリマス、他ノ債權者カラ後レテ辨濟ヲ受クルコトニシナクハナラヌ、之ヲ本來破産債權トシナイ趣意ガ徹底シナイト云フノデ、法人ノ破産宣告ノ場合ハ、割引ノコトハ致サナイ、相續財產ニ付テ破産ノ宣告ガアル場合ト同様デアリマス、獨逸デハ相續財產ノコトバカリ書イテアレ、法人ノコトハ書イテアリマセヌケレドモ、是ハ寧ろ獨逸法ノ誤デアルト云フコトデ、法人ノコトモ附加ヘテ茲ニ割引ノ規定ヲ適用セザル一ツノ除外例ヲ設ケタノデス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 説明ガ終リマシタカラ、ドウゾ御質問ヲ願ヒタウゴザイマス

○加太邦憲君 此十九條ノ但書デスガ、定期金ニ相當スル利息云々ト云フコトガアリマス、此定期金ニ相當スル利息ト云フ其利息ハ、矢張り法定ノ利息ト云フコトニナリマセウカ、若シ法定ノ利息ト云フコトニスルト、ソレガ元本額ヲ

超エルト云フコトハ一寸無ササウニ思ハレルノデスガ、ソコハドウ云フモノナシデセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 法定利率ニ依テ其利息ハ定メルノデアリマス、之ヲ打明ケテ申シマス抑モ法定利率ヲ元ニシテ各定期金ニ付テ削減シタル、之ヲ合算スルノダカラ、ソレカラ出ルモノガ定期金以上ノ法定利息ガ出ララウカト云フコトニ付テ、所々議論ガ起リタリマス、ドウ云フ場合ニ斯ウ云フ計算ガ出来ルコト云フコトハ、一寸私ナド算數ニ甚ダ暗クテ實ハ想像ガ附カナク、ケレドモ是ハ本來申シマス、結局斯ウ云フ場合ガ生ジテ甚ダ困ルコトガアツタカラ、特ニ此コトハ附加ヘテアルト云フコトニナッテ居ルノデ、此定期金ガ非常ニ長イトキニ、結局澤山合算シタラバ、其結果ソレヲ元ニシテ預ケテ、出ル利息ガ定期金ヨリ高クナルモノガアルモノト見エレルノデス

○藤田四郎君 十八條十九條ハ略、分リマシタガ、此二十條ノ場合デスナ、二十條ノ所デ、十八條ノ場合ノ不確定ト云フコトハドウ云フ場合デゴザイマセウカ、十八條ト云フモノハ、無利息ノ債權ノ一定ノ金額ノアルモノデス、此場合ニ於キマシテ期限ガ不確定ト云フコト、何時デモ拂フモノト法律上見ルモノデハナイノデスカ、要求ノアリ次第拂フベキモノデナイノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) 此期限ガ不確定ト云フノハ、サウ云フ意味デハナイノデアリマス、例ヘバ私ガ債務者ト假ニ假定スルト、自分ガ死シタトキニ此金ヲ拂フト、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、是ハ期限デ、死ヌコトハ間違ヒナイトシテ、必ズ期限ハ來ルニ相違ナイガ、併ナガラ何時來ルカ分ラヌ、ト云フコトニナッテ居ル割引ガ出来ナイコトニナル

○藤田四郎君 分リマシタガ、サウ云フヤウナ金ハ、矢張り債權ノ中ニ這入ルノデスカ、死シタラヤラウト云フヤウナ場合ノ如キモノモ、矢張り借金ノ中ニ這入ルベキモノデアリマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 勿論民法上ノ債務デアリマス、例ヘバ金ヲ贈與スルト云フ約束ハ別トシテ置キマシテ、金ヲ借りテ、オ前ガ生キテ居ル間ハ貸シテ置カウ、死シタトキニ相續人カラ返スト云フヤウナ、架空ノ想像、サウ云フヤウナノハ矢張り完全ナル債權デス

○藤田四郎君 尙ホモウ一ツ二十一條ノ方モ宜ク分リマセヌデスガ、法人ノ場合ニ於テハ、法人ガ自分ノ財産ノ方ヲ云フノデセウカドウ云フノデセウカ、適用シナト云フノハ……私ノ質問ノ趣意ガ宜ク分リマセヌカ知レマセヌガ……

○政府委員(山内確三郎君) 法人ガマア破産ノ宣告ヲ

受ケル、サウシマス法人ガ例ヘバ無利息ノ定期期限ノ債權ヲ持ッテ居タトスル、例ヘバ一萬圓ヲ二年ノ内ニ拂フト云フヤウナ債權ヲ持ッテ居タ、サウスルト反對ノ方カラハ破産債權ヲ持ッテ居タ、サウスルト一萬圓ハ例ヘバ……ドウ云フ計算ニナルカ知レマセヌケレドモ、割引シテ少シ金額ガ減ル譯ニナル、マア幾ラニナルカ知リマセヌガ、假ニ百圓減ルト假定スル、サウシマス、百圓ノ分ハ破産債權トシテ配當ハ受ケナイコトニナル、普通ノ場合ニ……殘リタケガ配當ヲ受ケル、ソコ普通ノ法人デナイト百圓ト云フモノハ後カラ請求スル、破産手續ノ後ニ是ハ殘ル債權ノ何時マデモ殘ル、所ガ法人ニナルト破産ガアルト解散シテマフノデスカ、結局財産ガ殘ッテ居レバ、破産手續ガ済ミタ後ニ此百圓タケ又渡サシケレバナラヌ、拂ハンケレバナラヌ、ソレデアリマスカ、法人ノ時ニハ法人ハ解散スルト死シマフカラ、割引シタルモノ一緒ニ配當シテシマフ、即チ割引セズシテ、破産債權ヲ定メル、例ヘバ今ノ一萬圓ニ付テ申シマス、破産債權ハ一萬圓タ、百圓ノ割引ヲセズニ拂ヒタルト云フコトニナル、ソコデ認メル所ハソレタケノコトニナッテ居リマス

○藤田四郎君 サウシマス、他ノ債權者ノ方ノ損ニナリハシマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) ソコデ後ノ方ノ規定ニ、他ノ債權者ニ後レテ配當スルト云フ規定ガ、先キノ方ニアリマス

○松室致君 チョット此處ノ所ガマダ分リ難ルノデアリマスガ、今一萬圓ニ付テ割引ガ百圓トスレバ、其百圓ノ割引ヲセズニ直グ配當スルト云フコトニナレバ、其債權者ハドウシテモ得ヲスルト云フ譯ニナリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 百圓ヲ割引ケバ、他ノ債權者ガ得ヲスルヤウニナル、斯ウ云フコトデスネ

○松室致君 他ノ債權者デアッテ、茲ニ甲ト云フ債權者ガアッテ、ソレガマア定期期限ノ一萬圓ノ債權ヲ持ッテ居タ、若シ此破産者ガ個人デアレバ、百圓ノ割引ヲシテ渡サレルノデスカ、九千九百圓シカ受取レヌ、ソレガ其割引ヲセズニ渡サレルノデスカ、一萬圓全額ヲ受ケル譯ニナルデスネ、サウスルト百圓ニ付テハ他ノ債權者ソレニ依リ損失ヲ受ケルコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 他ノ債權者ハ得ヲスルコトハナイノデス、ト申シマス、他ノ債權者モ斯ウ云フ狀態ニアル者ハ皆割引ヲサレマス利息ガ付テモ利息ガ引カレシマフ、皆期限ニ至ラザルモノデアルト云フコト、利息ノアルモノハ利息ヲ割引シ、利息ノ無イモノハ利息ニ當ルヤウナモノヲ造ッテ、之ヲ割引スルト云フコトニナリマス、破産債權ノ標準ト云フヤウナモノハ公平ニナラウ、ソレヲ標準トシテ同一

ノ率ニ配當ヲシマスカ、得ヲスル者ハ全ク無イノデス

○松室致君 ソレガ皆其期限ガズツト後ニナルカ、或ハ不確定デアアルコト云フヤウナ債權バカリデアツタ時分ニハ、損ヲスル者モ得ヲスル者モアリマスマイガ、假ニデスネ、一人分ノ割引ヲサレバキ債權ヲ持ッテ居ル者ガアッテ、他ノ者ハ皆期限ノ到來シタ、割引ヲサレナイ狀態ニアルモノト假定シタ場合、ドウシテモ割引ヲサレバキモノガナイ、債權者ハソレタケ得ヲシテ居ルヤウデアアル、即チ破産者ガ法人若クハ相續財產デアアルガ爲ニ百圓ノ得ヲシテ、他ノ債權者ガ其百圓ノ分配ヲ受クベキモノヲ受ケヌノデスカ、詰リソレタケノ損ヲスルコトニナリハシマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 私ガ御質問ノ趣旨ヲ間違ヘテ居ルカモ知レマセヌガ、兎ニ角一應御説明申上ゲテ見マス、此割引ヲシナイ債權者ト、割引ヲスル債權者ト云フモノガ決マル基ト申シマス、斯ウ云フコトニナル、割引ヲサレナイ債權者……マア現ニ期限ニ到ッテ居ルモノハ割引ヲサレナイ、ソレハ今取ルベキモノヲ今取ルト云フコトニナル、割引ヲスル者ガナイ、未ダ期限ニ至ッテ居ナイモノハ本來得ヲスルコトニナル、其全額ヲ取レル、ソレデ割引ヲシテ初メ他ノ債權者トノ間ノ均衡ヲ得ルコトニナル、ソレヲ標準ニシテ茲ニ配當ヲシテ行ク、サウスルト今度財產ガ……配當ヲシテ見タ所ガ、法人ニ付テ言ヘバ財產ガ殘タ、其財產ガ殘ルト云フ場合ハドウ云フ場合カト云フコトヲ想像スルト、割引セラレザル債權者ハ全部辨濟ヲ受ケル、割引セラレタ債權者ハ其破産債權額タケ全部割引サレルト云フ場合ハ、損モシナイ、債權ガ殘ラナイ、ソコデ財產ガ殘タト云フモノハ、ドウ云フモノヲ取ルカト云フコト、即チ割引額ニ付テ辨濟ヲ受ケル、或ハ將來利息ニ付テ辨濟ヲ受ケルモノモ矢張り斯ウ云フコトニナル、財產ノ有ル限リハ本當ノ破産財產ハ取ッテ行ッシマフノデスカ、殘リノアルモノハ債權者タケガ其前ニ割引額ニ付テ、詰リ今ノ例ニ言フト百圓ノ割引サヘ受ケルト、勿論損得ノ關係ハ全ク起ラナイコトニナルノデアリマス

○松室致君 サウスルト、割引ヲシタノハ其破産者ガ法人若クハ相續財產ニアラザルヨリハ、一度ニ配當ヲ受ケル譯ニナルノデスネ

○政府委員(山内確三郎君) 此普通ノ場合タト云フコト二度ニ配當……ト申スト少シ語弊ガアリマスガ破産手續ハスツカリ終ッテシマフ、詰リ割引シタ債權ナリ其他ノ債權ナリ……サウシマス、ト將家ノ利息ト云フモノナリ、或ハ割引額ハ使ハズニ済ミタ、債權ハ依然トシテ殘デ居ルト云フコトニナル、ソレハモウ破産手續ノ外デ處分ヲシロ、要スルニ僅ノ事柄デアリマス、ソレガ其自然ノ債務者ハ其金額ニ付テハ唯破産手續ガ終ッテ、辨濟ノ責ガアルト云フコトタケニ

ニナシタ以上、其アトノ五圓ハ割引額ノ請求權ト云フモノハ
無イモノナラウト私ハ思フノデスガ、モウ既にソレデ全額ノ拂
込ミヲ辨済ヲ受クベキ帳面ニ入タモノト見テ宜イト思フ此
二十一條ニ於テノ法人ノヤウナ場合ニ於テハ、サウ云フ割
引ノコトハセヌト云フコトハ宜シウゴザイマスケレドモ、御説
明ヲ今ノヤウナ風ニ、私ガ解スルト云フヤウニナルト、エライ
此百圓ノ中カラ五圓ヲ引カレタモノハ、更ニ又アトカラ五圓
ヲ要求スルコトガ出來ル、破産財團デナイカモ、知ラヌケレド
モ、出來ルト云フコトハ面白クナイト思ヒマス、法文ノ十八、
十九、二十、二十一條ノ立法方ニ別ニ異議ガアル譯デハナイ
ケレドモ、御説明ノヤウナ風ニ、モウ法人ノ方ハサウ云フコト
ハセズシテヤテ仕舞フ、モウアトハドウナルカ分ラヌト云フノ
御決メニナレバ宜シイガ、ソレモ矢張り此御説明ノヤウニ、外
國ナドデモサウ云フコトガアルモノト云フ御鑑定ニナッテ居リ
マスガ、又斯ウ云フ文例モアルノデアリマセウカ、ナヨト能ク
分リマセヌカラ……

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ外國モ此通りニナッテ
居リマスガ三十八條ト實ハ御記憶ヲ下サルコトヲ私ハ望ミ
マス、此三十八條ニ依リマス破産宣告後ノ利息ト云フモ
ノハ、是ハ取ラセナイ、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、元本ダケ
ガ破産債權ニナル、然ラバ其利息ハ取ラヌカ利息ハ期限
ニ至ッテモ取ラレモノカ、取ラヌモノカト云フト破産デハ
拂ハセヌケレドモ、結局利息ハ拂ハナケレバナラヌコトニナル
○藤田四郎君 ソレハ十八條デハナイノデ……

○政府委員(山内確三郎君) ソレニ權衡ヲ取ッテ利息ノ
付イタモノハ利息ヲ取ラセズ切ッテ仕舞フカラ、利息ノ付カ
ヌモノハ利息ガ付クト假定イタシテ、不足ナラソレダケ利息
トシテ引カウト云フコトニナッテ居ルカラ、三十八條デ宣告ノ
利息ハ取ラセナイト云フ意味ト、十八條デ割引ヲ取ラセナ
イト云フコトハ、全ク權衡上ノコトデアリマス

○藤田四郎君 既ニ配當ヲ受ケル後ノ利息ト云フモノハ、
金ヲ貰フ以上ハ、受取ルベキモノデアリナシ、斯ウ云フ特別
ナ場合ニ遭遇シタモノデアリカラ、既ニ配當ヲ受ケルコト云フ
場合ニアッテハ、其配當後ノ利息一割カ八朱ノモノハ無論
之ヲ取ルベキモノデアリカラシテ、無論ソレニ對シテモ同様
ナ觀念ヲ抱イテ居ル、從ッテ無利息ノモノデアレバ、無論其割
引ヲスルナラバ、其割引サレタ五朱ノモノニ對シテハ無論請
求權ハ無イモノト、斯ウ云フ風ニ思ヒマスガ……

○政府委員(山内確三郎君) 此配當ガ一遍ニ宣告ガ近
ク濟ンデ仕舞ヘバ、元本ガ無クナレバ、ソレカラ後ハ取レナイ、
配當ハ順次ニ少シツ行ハレテ居ル、元本ガ殘ッテ居ル間ハ
破産宣告後モ其契約ニ利息ノ權利ガ殘ッテ居ルノデ、元本
ガ少シツ減ッテ行キマスカラ、ソレガ爲ニ利息ガ減ッテ行クコ

トハ當然デアリマス、ソコデ三十八條カラ牽聯シマシテ……

○藤田四郎君 サウ云フ御趣意ナラ能ク分リマシタ

○政府委員(山内確三郎君) 四十九條ニサウ云フコトヲ
規定イタシマシタ、外國ノ獨逸ノ立法ガサウナッテ居リマス

○河村讓三郎君 ナヨト速記ヲ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ナヨト速記ヲ止メテ……

(速記中止)

○委員長(伯爵松平賴壽君) 速記ヲ初メテ……

○松室致君 尙ホモウ一應御尋ね致シマスガ、法文ノ解釋デ
アリマシテ、私ノチヨット拜見シタ考デハ、此十八條十九條二十
條二十一條ト云フモノガ、餘リ細カ過ぎハセヌカト云フ嫌ヒ
ガアリマスガ、マア民法デモ破産宣告者ガアレバ、期限ノ利ヲ
失フト云フ規定ガアルヤウニ覺エテ居リマスガ、其結果デスネ、
矢張全額ヲ請求スルコトニナッテ居リマス、喧シイ規定モ何
ニモ要ラヌヤヤウニ思ヒマス、如何デスカ

○政府委員(山内確三郎君) 細カイト言ハレ、バ大部細
カイノデアリマスガ、併ナガラ隨分大キナ金額ニ上ル場合モ、
是デアラウラウト思ヒマス、其破産ニ至ッテハ殊ニ出來得ル
ダケ細カニシテ置カヌト、爭ヒヲ生ズルトキニ裁判所ガ困ルノ
ミナラズ、一々裁判ヲヤルト云フコトニナルト、評價シテヤルト
云フコトニナルト、大分手數ヲ要シマス、ソレカラ十七條ノ規
定ハ、是ハ民法ノ規定ヲ改メタ、即チ後法前法ヲ排スト云
フノデ改メシタ、民法デハ破産宣告ヲ債務者ガ受ケタトキ
ニ、期限ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ズトスウ云フコトニナッテ
居ル、サウスルト債權者ノ方カラ期限ノ利益ヲ主張スルコト
ガ出來ルデアルカ否ヤト云フ問題ガ殘ル、是ハ寧ろ破産ノ宣
告ガ起ッタルバ、期限ニ至ルト看做ス、一方ハ主張スル一
方ハ主張ガ出來ナイト……ト云フヤウナコトニセズニ、皆打
切ッテアッテサウシテ、配當ノ標準ヲ定メル必要ガアルト云フ
ノデ、始メハ、民法ダケデ満足シヤウト思ヒマシタガ、結局民
法ヲ改メタ方ガ宜イト云フ趣意、是モ趣意ノ一ツデアリマス、
民法ノ百三十七條デアリマス

○松室致君 御趣意ハ承リマシタガ、十七條デ此辨債期ニ
至リタルモノト看做スト云フコトニナレバ、是ダケデ解釋ハ出
來サウナモノデアリマス、全額ヲ請求シテ一向差支ナイト云
フノデ、別ニ爭ヒハ却ッテ起リナイ方ニナリハシマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 破産財團ト云フノハ、先刻
御話ノ通り結局財產ガ足ラザル場合ガ主デアリマス、成ベク
債權者ガ受ケル利益ハ公平ニスルコト云フ、此爲ニ此間ニ利
得ヲスル他ノ債權者ニ比較シテ、少シデモ得ヲスルコト云フコ
トハ防ガナクチャナラヌ、ソレデ配當スルニ致シマシテモ、百圓
ヲ……將來受クベキ百圓ヲ、現在受クベキ百圓ト同ジニ見テ
配當スルコトニナルト、其債權者ハ幾分ノ得ヲスルコトニナ

リマス、僅カナ財產ノ中カラ一人ノ債權者ガ、幾分ナリトモ
表面上得ヲスルコトハ防ガナクチャナラヌノデアリマスカラ、
既ニ利息ヲ取ラセナイト云フ以上ハ、無利息ノモノモ矢張
リ利息ダケハ引カナイ、無利息ナモノガ却ッテ得ヲスルコトニ
ナリマス、ダカラ公平ノ主義デ、少イ財產ノ場合ニ殊ニ嚴格
ニセラヌト、特ニ不公平ヲ生ズルト云フ意味デ、割引ノ已
ムヲ得ザルモノト見タ次第デアリマス

○河村讓三郎君 ソレデ十八條ノ規定ハ、民法ノ百三十
七條ノ第一號ノ規定ニ對スル、例外ノ規定ト見テ宜イデス
カ

○政府委員(山内確三郎君) 此民法ノ百三十七條ノ第
一號ト云フモノハ、全ク破産ノ場合ニ適用スル規定ナシデ
アリマス、ソレデ破産宣告ヲ債務者ガ受ケタ場合ニ、期限ノ
利益ヲ主張スルコトヲ得ズト云フコトヲ改メテ、期限ニ至リ
タルモノト見做ストスレバ、百三十七條デ適用スルコトハ殘
ラナイコトニナル、十七條デ例外ト申シマスヨリハ、百三十七
條第一號ハ當然割引ト同ジコトニ歸スルコトノ頭デアリ
マス

○男爵矢吹省三君 二十一條ノ御説明ノ中、割引額ノ
請求權ニ付テ伺ッテ見タイ、例ヘバ先程例ニ出マシタ、百圓
ノ期限附債權ニ付テ、一年先ガ期限デアルガ爲ニ、年五分
ノ利率ニ依テ割引イテ九十五圓ダケノ債權ヲ、破産宣告ノ
時ニ持ッテ居ッタモノト致シマシテ、其後ノ五圓ダケノモノガ
割引額トシテ、後日ハ請求ガ出來ルノデアリマスガ

○政府委員(山内確三郎君) 此四十六條ノ規定ニ依リ
マス、サウ云フコトニナッテ居リマス、併ナガラ是ハ餘程精
神上ノ解釋ヲシナケレバナラヌノデアリマシテ、利息ニ付テモ
只今ノ藤田サンニ御答シタヤウニ、元本ガ少シジ、減ッテ居
ルカラ、自カラ利息モ減ッテ行クヤウナ形ニナル、單純ナ四十
六條ノ差額ノ請求ガ出來ルト云フコトニナッテ居リマスガ、是
モ利率ヲ基ニシテ割引シテ行クノデアリマスカラ、配當ノ進
行ニ依ッテハ此差額ト云フモノ、計算ハ餘程混雜スル、混
雜ト云フト語弊ガアリマスガ、矢張り百圓ナラ九十五圓ダ
ケ取ラセタラ、残り五圓ガ全部ダト云フコトニ、此文字ヲ直
ニ解釋スルト云フコトハ、一寸困難デアラウカト思ヒマス

○男爵矢吹省三君 一寸一言致シマス、債權ノ期限ハ
一年後デアッテ、今破産ノ宣告ガアッテ致シマシテ、破産手
續ニ移ッテ、配當ガ半年ノ先キニナッテ、斯ウ致シマシテ、詰リ
其場合ニ期限附ノ債權ヲ假ニ百圓ノモノヲ、割引致シマシ
テ九十五圓ト致シマス、ソレカラ他ノ利息附ノ債權ガ百圓
ノヤツガアル、是ハ其宣告ノ時ニ矢張り百圓デ、此一方ハ額
面ニ於テ同ジデアリマスガ、無利息デアリマス爲ニ、九十五
圓デアル、マア公平ノ爲ニ、サウ云フ風ナ規定ノ精神ニ依ッテ、

規定通りニスルト致シマシテ、サウシテ百圓ノ利息附ノ方ノ債權ノ方ハ、半年先キニ配當ノ場合ニ於テ、其配當ヲ受ケル迄ノ間ノ半年分ノ利息ノ請求權ヲ持ツノダ、ソレカラ無利息ノ方ノ債權ハ、五圓ダケ詰リ其配當ヲ受ケタ後ノ半年分迄モ含メテ利息ヲ請求シ得ルモノトナラナラヌト思フ私ノ考ト致シマシテハ、只此割引ト云フコトハ、破産宣告ノ當時ノ債權ノ額ヲ極メタルダケノ標準ニシテ、利息ノ點ニ付テハ其時ニ極メラレタ債權ニ應ジテ、配當迄ニ至ル間ノ利息ヲ請求スルコトニシタ方ガ、公平デナイカト思ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 結局私ノサキ申シマシタノモ其趣意デアリマシテ、利息ハ一年後ノモノトスレバ、先ヅ一年間ノ利息ハ後取レル、配當ニ依テ元本ガ減レバ自ラ其利息ト云フモノガ減ルノデ、從テ其割引シタル額モ、矢張り同様ノ意味ニ於テ割引額ト云フモノモ極メナクチャナラヌノデ、百圓ノ中九十五圓ダケ破産債權トシテ取ラシタ、幾ラカ割引シタル、元本額ニ見レバ五圓割引シタルガ、併ナカラハ是ハ利率ヲ標準トシテ割引シテ居ル次第デアリマスカラ、若シ其百圓ヲ今取ツタラバ、五圓ダケ得スルモノデア、實際ノ配當ニ於テ順次ノガ進ンデ行クコトニナレバ自カラ差額ヲ極メルニ付テモ、或考慮ハ要サナクレバナラヌコトデアラウト考ヘテ居ルノデス

○藤田四郎君 其次ラドウツ

○菅原通敬君 既ニ御説明ガアツカ知レマセヌガ、若シアツナラバ宜シ、此第五條ノ書方ニ依リマス云フコト、例ノ別除權者ト云フモノヲ、矢張り破産債權ノ中ニ含マレルコトニナルノデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 別除權者ノコトハ外ニモ規定ガシテアリマスガ、要スルニ別除權者モ破産債權者デア、破産債權者權デアリマスガ、其破産債權額ト云フモノハ斯ウ云フコトニシテ極メナクチャナラヌ、別除權即チ優先權ヲ抛棄シタルハ、是ハ全額破産債權、擔保權ノ方ニ掛ラズニ別除權ヲ抛棄シテ、サウシテ破産債權者トシテ債權ダケヲ主張スルト云フコトニナレバ、是ハ全額、別除權ヲ留保スルト云フモノデア、レバ、其別除權ヲ行使イタシマシテ凡ソ幾ラノ額ガ残ル、例ヘバ抵當物ガ五萬圓デ債權ガ十萬デアルトスルト、先ヅ此抵當權ヲ別除權ニ依テ行使シテモ、五萬圓ダケシカ取レナイト云フコトニハ、五萬圓ダケ破産債權トシテ居出デルト斯ウ云フコトニナテ居リマスカラ、結局別除權ニ依テ行使シテサウシテ辨濟ヲ受ケルコト能ハザル場合ガ破産債權ト云フコトニナル、其コトハ破産手續中別除權ハ、目的物ヲ管財人デ評價シテ配當金ヲ定メルト云フコトモ、別除權ニ付テハ細カキ規定ガ他ニモアルコトニナテ居リマス

○菅原通敬君 此法案ノ方ニハ、但書ニ於テ別除權者ヲ

除イテアルヤウニナテ居ラト思ヒマスガ、ソレヲ御割リニナタノハドウ云フ譯ナノデゴザイマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 別除權者ヲ除イテ、全然破産債權者トシナイト云フコトハ頗ル當ヲ得ナイノデアアラウカ、即チ別除權ヲ行使シテモ自分ガ満足ガ出来ザル權利ハ破産債權者トシテ破産財團ニ加テ配當ヲ受ケルコト云フコトニナラヌケレバ、其債權者ハ自己ノ權利ヲ完全ニ執行スルコトが出来ナイト云フコトニナルト云フ趣意デ、破産債權ト云フコトニシテ、其額ニ付テ別ニ制限ガ置イタルノデス

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラ先ヘ參リマセウ第

二十二條ヨリ二十七條ノ間ヲ願ヒマセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 二十二條ハ是ハ簡單ナコトデアリマスガ、之ニ依テ破産ノ趣意ガ間接ニ明カニナルノデアリマス、破産ハ特定義務ノ履行ヲ求ムルト云フコトハ絶對ニ許サナイ、其債權ハ之ヲ金錢ニ換ヘテ請求スルコト云フコトニナル、其コトヲ二十二條ハ規定イタシマシタノデス、金錢デナイ時デモ其目的物ハ幾ラダテ評價シテ破産債權ノ額ヲ定メル、額ニ關スル第一ノ規定デアリマス、ソレカラ十三條ハ條件附債權ハドウダト云フコトニナリマスガ、此條件附債權ヲ行使セシムルニ評價シテ行クコトニ付テ、民法等ハ評價ミタヤウニナテ居リマスガ、評價スルト云フコトハ正確デナイカラ、破産手續ハ隨分長ク續クノデアリマス、條件附債權デアレバ、條件ヲ先ヅ無視シテ置イデ、例ヘバ斯ウ云フ條件デアッタラ一万圓ノ金錢ヲ支拂フト云フ債權デアレバ、一万圓ヲ以テ破産債權ノ額トスル、斯ウ云フコトニナルノデ、其結果ハドウ云フコトニスルカト云フコト、結局實際ノ配當ハシナイ、停止條件附デアレバ、ソレニ應ズル配當額ハ一々他ニ寄託ヲシテ、先ヅ管財人ニ於テ預メテ置クコトニナル、途中デ條件ガ不成就ニナレバ、全ク債權ナシト云フコトニナリマスカラ、其時ニハ供託シタル所ノ金、是ハ他ノ債權者ニ配當スルト云フコトニナル、ケレドモ先ヅノ標準ヲ定メマスハ、目的ノ評價額ガ破産債權ノ額、之ニ依テ先ヅ配當ノ標準ヲ定メルト云フコトニナルノデス、ソレカラ將來ノ請求權ト云フノハ、前ニ申シヤウナ將來給付ヲ求メルヤウナ權利デ、結局停止條件附ト同ジヤウナコトニナル、ソレカラ二十四條ハ是ハ民法ニハ二三規定ガアリマスケレドモ、其民法ニ付テハ隨分議論ガ起テ、甚ダ明確ヲ缺クト云フノデ、二十四條ニ明カニシタノデス、此趣意ノ重ナルモノハ、重ニ民法ノ不明ノ點ヲ明カニシタノデ、ソレハ破産宣告ノ時ニ有スル債權ノ金額ニ付ト云フ、是ダケノ文字ガ餘程ノ強イ働キヲ持テ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願イタイ、ソコデ「各自全部ノ履行ヲ爲ス義務ヲ負フ」ト云フ場合ハ、適例ノ重ナルモノデ申上ゲマスガ、連帶債務、連帶債務ノ場合ニ於

テ、債務ガ例ヘバ二人トモ破産ノ宣告ヲ受ケタ、斯ウ云フコトニナリマス、破産債權者ハ甲ナル債務者ノ破産財團ニモ一万圓ノ債權ト云フモノハ全部請求シ、乙ナル破産財團ニ付テモ矢張り一万圓ノ全部ノ請求ヲスル、ソレハ民法モサウナテ居ルノデス、然ルニ之ガ時ヲ異ニシテ、甲ノ債務者ハ今日破産ノ宣告ヲ受ケタ、乙ノ債務者ハ一月遅レテ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フヤウナ場合ニ、中間ニ一方ノ破産財團カラ一部ノ配當ヲ受ケタ、例ヘバ一万圓ナラ千圓ノ配當ヲ受ケテ残り九千圓ニナツタ、サウ云フ場合ニ今度乙ノ方ガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フトキ、斯ル時ハ幾ラデアアルカト云フコトガ、民法ニ於テ非常ナル疑問ノ起タルコトデ、其場合ニハ茲ニ所謂破産宣告ノ時ニ有スル債權ノ全額トシテ、九千圓ニ付テ配當ヲ受ケル、一厘ノ辨濟ヲ受ケテ居ナケレバ兩財團ニ一万圓ツ、配當ノ請求ヲスルノデアリマス、私ガ設ケマシヤウナ例ノ場合ニハ、一方ニハ一万圓、一方ニハ九千圓ト云フコトニ極メヤウト云フノガ二十四條ノ規定デアリマス、二十五條ハ是ハ同ジヤウナ意味デアリマス、併ナガラ保證人ダケガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フ場合、保證人ニ付テハ矢張り其破産宣告ノ時ニ於ケル債權ノ全額ニ付キ破産債權者トシテ其權利ヲ行フト云フコトヲ掲ゲタルニ過ギナイノデアリマス、二十四條ハ數人破産ノ宣告トアリマスカラ、保證人ダケニハ茲ニ特ニ二十五條ヲ規定シテ譯デアリマス、ソレカラ二十六條ハ詰リ求償權ノコト、即チ將來ノ請求權ノコトニ付テ規定シテ居ルノデアリマス、先ヅ二人ノ連帶債務者ガアル、假ニ其二人共破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ヲ想像シマス、或ハソレデナケレバ一人ダケ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合デモ宜シイデスガ、其處ニ破産財團ト云フモノガ出来ル、サウシマス、債權者ヲ假ニ甲ト致シマス、ソレガ一人ノ債務者カラ全部ノ辨濟ヲ受ケル、一万圓ノ連帶債務ニ付テ、例ヘバ一万圓ヲ全部一人カラ受ケルト云フコトニナレバ、其債務者ハ今度ハ求償權ヲ行使シナケレバナラヌ、ソコデ他ノ債務者ガ破産シテ居レバ、破産財團ニ求償權ヲ行テ、一万圓ノ請求ヲスルコトが出来ルコトハ、是ハ當然デアリマス、併ナガラ一方ガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フヤウナ場合ニナリマス、或ハ兩人デモ宜シイデスガ、他ノ債務者ト云フモノハ自然全部辨濟ノ請求ヲサレル虞ガ最も多イ譯デアリマス、ノミナラズ兩方ガ破産ヲスレバ、兩財團ニ全部ノ參加ヲスルコトガ二十四條ニ規定ガアリマスカラ、其結果一方カラ餘計拂フ、或ハ全部拂テ仕舞フト云フ虞レガ、將來請求サレテ配當ノ結果全部デモ配當シナケレバナラヌト云フコトニナルト、配當ヲシナイ場合ニ於テモ、配當シタナラバ求償權ヲ行ハナケレバナラヌト云フ關係ニ立ツノデアリマスカラ、豫メ求償權ダケヲ破産財團ニ届出ルデ一万圓ノ

債務ヲ連帶債務者ノ一人ガ全部今拂ヒハシマセヌケレドモ
拂ツトキニハ一万圓ハコッチカラ取ラナケレバナラスト云フ、
即チ將來ノ求償權ニ基キマシテ、一万圓ダケ即チ破産財團
ニ請求ガ出來ルト云フコトガ、第一項ノ本文ヲ規定デアリ
マス、所ガ是ハ將來ノコトデアル、マダ債權者ニ辨濟シナイ
場合ニ想像シテ居ルノデアリマス、所ガ債權者ノ方ガ同時
ニマダ辨濟ヲ受ケザル以前デアリマスカラ、自分ガ破産債權
者トシテ配當ニ加入ヲスル、債權者ガ茲ニ自分ノ債權者ヲ
直接ニ破産財團ニ對シテ請求スル、他ノ債務者ガ又其全
額ニ付テ將來ノ請求權トシテ、兩方カラ請求サレルト是ハ
大變ダカラ、債權者ガ先ヅ權利ヲ行使スルナラバ債務者ノ
將來ノ請求權ヲ行使ヲ許サナイ、是ハ當然ノコトデアリマス
ガ、趣旨ハ其處ニアルノデアリマス、ソコデ今申シマシヤウ
ニ債權者ガ加入シタ、然ニ其後一方ノ債務者ガ辨濟シテ
仕舞タ、全部ノ辨濟ヲシタト云フトキニハ、今度ハ債權者
ニ代テ求償權ヲ行使スル爲ニ、破産手續ニ加ハルコトヲ得
ト云フノガ第二項ノ規定デ、是モ當然ノ事柄デアリマス、第
三項ハ、全部義務ト擔保ヲ供シタル第三者ト云フコトモ、
即チ例ヘバ抵當物ノ所有者トカ云フヤウナモノデアリマス、
ソレモ同様ニ取扱ハナケレバナラスト云フノデアリマス、全部
義務者、ソレカラ第二擔保義務者ト云フモノモ、同様ニ取
扱フト云フダケノ趣旨デアリマス、二十七條ハ、是ハ別段御
説明申スコトデモナク、餘リ疑ヒノナイヤウナ規定デアリマス
一部保證ト云フヤウナ場合ニ、其一部保證ニ付テ、例ヘバ
連帶關係ガアルト云フヤウナ場合ニ、其一部關係ニ付テ矢
張り只今申シマシタ數箇條ノ規定ヲ適用スルノガ必要デア
ルト云フダケデ、是ハ殆ド注意的ノ規定デアリマス

○菅原通敬君 第二十四條ニ「全員又ハ其ノ中ノ數人カ
破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ」トアリマシテ、此數人ノ中一人
ガ宣告ヲ受ケタ場合ニハドウナルノデアリマスカ

○政府委員(山内確三郎君) 是ハ一人モ自ラ包含シテ
居ル積デアリマスケレドモ、併ナガラ一人ガ破産ノ宣告ヲ受
ケルト云フコトダケナラバ、是ハ民法ノ規定カラ、殆ド疑ヒノ
ナイコトデアリマス、破産者ガ數人アルト云フコトニナルト、
財團ニ加入スルノハドウノ程度デアアルカト云フコトガ、是ハ常
ニ疑問ニナルノデアリマス、一人ガ破産ヲ受ケタルトキニハ、現
在殘テ居ル債權ノ金額ニ加入スルコトガ出來ルト云フグ
テハ是ハ疑ヲ誰シモ存シテナイ、二人ガ茲ニ破産スルトドウ
云フコトニナルカト云フコトニ付テ、今非常ニ議論サレテ居
ル、茲ニハ數人ノ場合ダケ書イテアリマスガ、是ガ改テ例ヘ
バ一人ノコトニ付テ包含シテ解釋サレ、或ハ適用サレテモソ
レハ同ジコトデアリマス

○菅原通敬君 一體此規定ハ大分細カク出來テ居リマス

定セラレテ、他ノ連帶債務アルトカ云フ方ノ場合ノ規定ヲセヌハドウ云フ譯デアリマセウカ、二十四條ガアルト二十五條ハ要ラヌヤウニ見エルノデスガ……

○政府委員(山内確三郎君) 此二十四條ハ唯今申シマシタヤウニ、數名ノ破産ノ場合ニ付テノ規定デ、特別ノ意味ガアルノデアリマス、例ノ疑問ヲ解決スル爲ノ規定デアリマス、二十五條ハ保證人ニ關シテノ特別ノ規定デ、保證人ニ至リマス、主タル債務者ニ付テ、斯ウ云フ債務ハイケンイト云フ、色々ナ抗辯ヲ受ケルノデアリマス先ツ本人ニ掛レトカ云フヤウナコトニナツテ居ツテ、此民法等ニ於キマシテモ、連帶保證人ト云フト色々ナコトガアルノデアリマス、無條件ニカ、レルト云フ規定ガアルノデアリマス、證人ダト云フト抗辯ヲ受ケル、主タル債務者ノ關係カラ……ソレデ保證人ハ殘額ニ付テ直チニ茲ニ書カレルト云フコトヲ、特ニ茲ニ書イタ次第デアリマス

○菅原通敬君 其保證人モ、矢張り全部義務ヲ負ウテ居ルノデアリナドスカ
○政府委員(山内確三郎君) 二十六條其他ノ規定等ニ於テモ無、論全部義務ノ中ニ這入ッテ居ルノデアリマス
○菅原通敬君 サウスルト云フト、ドウモ二十四條ニ包含サレシマフヤウニナル

○政府委員(山内確三郎君) 二十四條ハ保證人ニ付テ云ヘバ、保證人モ主タル債務者モ、共ニ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合、結局只今ノ關係カラ數人ト云フ者ガ本ニナツテ、保證人トスレバ、保證人ト主タル債務者ト一緒ニ、或ハ保證人ト保證人ガ一緒ニ行ツテ、連帶關係ノ場合、其場合ニハ二十四條デスケレドモ、保證人ダケガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フ場合ニ付テ、此一ツノ規定ヲ要スルト云フダケニ止マルノデアリマス

○松室致君 チョットシタコトデスガ、今藤田サンカラ御質問ニナツタ第二十六條ノ但書デスガ、是ハチョット讀ンデ行クト、只債權者ト書イタルカラ、破産債權者ト違フヤウデスケレドモ、結局同ジモノニナルノデスネ、能ク考ヘリヤ、破産債權者ト書カウガ、債權者ト書カウガ、同ジヤウニナルノデスガ、コイツガドウモ混ジテチョット讀ンデ何ト云フコトデアラウト云ウヤウニ迷フノデスガ、何トカ之ヲモウ少し但書ノ、債權者ノ上ニ何カ形容詞デモ附ケテ區別スルヤウニ、早ク解リ易キヤウニ出來マセカ

○政府委員(山内確三郎君) 總テ此二十四條ナリ、二十五條ナリ、債權者ト云フノ其全部義務、或ハ保證義務ニ付テノ債權者ヲ指シテ居ル、二十六條ノ債權者モ、數人ガ全部ノ履行ヲ爲ス義務ヲ負フ場合ニ、其義務ニ付テノ債權者ト云フ意味デ、勿論是モ破産債權者ナンデスケレドモ

前段ハ義務者ガ破産債權者トシテ、自分ノ利益ヲ圖リ、但書ノ方ハ本來ノ債權者、即チ前段ハ義務ニ付テ書イテ、後段ハ債權者ガ權利ヲ行フ場合ニ付テ書イテ居ルノデアリマス、モウ少し御價レ下サルト、モウ殆ンド疑ナカラウト思ヒマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 如何デスカ、モウ三時ニモナリマシタカラ、今日ハ是デ休ミマシテ、月曜日ニ、六日ノ午前カラヤンデハ如何デスカ
○藤田四郎君 月曜ハ私差支ガアリマスガ、時間ガアルノデスカモウ少し御ヤリ下スデハ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレナラモウ少しヤリマス、ソレハ引續イテ先ツ御説明ヲ願ヒマス二十八條九條ヲ……
○政府委員(山内確三郎君) 是モ趣旨ハ大體今マデニアル規定ト同ジデアリマスガ、合名會社ノ社員ハ、其會社債權者ニ對シテハ無限責任ヲ負フモノデアアル、ソコデ其關係ハ獨逸ノハ全然連帶デアリマスガ、日本ノデハ稍、保證人見タヤウナ債務ニナツテ居ル、會社ガ其財産ヲ以テ、其債務ヲ完済スルコト能ハザルトキハ、社員ハ其辨濟ノ責任ニ任ズ、社員關係ニハ無連帶者ト云フコトニナツテ居リマス、當リ前行ケバ一ツノ條件ガ日本ノハ附イテ居ル、サウ云フ次第デアリマスガ、直ニ此二十四條ノ全部義務ト云フコトハ、言ヒニクイ義務ニナツテ居ル、サウ云フ次第デアリマスガ、其社員ガ破産ノ宣告ヲ受ケタト云フトキニ、會社債權者ガ、此社員ノ破産財團ニ係ルモノニハ、是ハ矢張り直チニ無條件トシテ、會社財團ヲ以テ債務ヲ完済スルヤ否ヤ問ハズ、全額ヲ以テ其破産財團ニ加入スル、ソレカラ二十九條ハ有限責任ノ合資會社、サウシテ合資會社ノ社員ハ有限責任社員、是ハ矢張り合名會社ト同一ノ條件デ、以テ、會社債權者ニ對シテ、直接ノ責任ヲ負フ、此點ニ付テハ直接ノ責任ヲ負ハヌト云フコトヲ云フ學者モアルノデアリマス、ソレガ誤リデアルト云フコトハ、今日ニ於テハ最早疑ヒナイヤウニナツテ居リマスガ、茲ニハ又誤ラザル方ノ見解カラ、有限責任ヲ取フモノニ付テハ、全額ニ付テ破産債權者トシテ、其權利ヲ取行フコトヲ得、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、一寸ソコデ申上ゲテ置カケレバナラヌノハ、有限責任デアリマスガ、會社債權者ガ一万圓デアツテモ、其人ノ有限責任ハ五千圓デアレバ、五千圓以上ハ取レナイト云フコトハ、是ハ固ヨリ當然デアリマス、ソレニ達スルマデ配當スルニハ、私ハスカリ反對ノコトヲ云ヒマスガ、全部ソレニ行ケル、斯ウ云フコトニナルノガ、先ツ通常ノ解釋デアリマス、併シ有限責任ト云フコトニナルト、有限ノ關係デアリマスガ、之ヲ出資ノ限度ニ於テ責任ヲ負フ、直接責任ヲ負ハセルヨリハ、出資ヲ法人ノ破産ノ場合ニハ取立テルガ宜イ、サウシテ直接責任ト云フヨリ

ハ、破産手續ニ於テハ、内部責任ニ止メテ行カウ、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、ソレデ有限責任社員ガ、破産ノ宣告ヲ受ケタトキニハ、會社債權者ハ破産財團ニ加ハラナイ、破産財團ニ對シテ權利ヲ行ハレノハ、法人即チ會社ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニ於テ、直接ニ有限責任社員ニ對シテ其請求ヲスルト云フコトヲ止メテ、内部出資ニ止メル、其意味ヲ以テ本文ヲ書イテ但書ニ……是ハ當然ノコトデアリマスガ、念ノ爲ニ出資ノ請求ヲナサムトシタル有限責任社員カラ法人ガ取立テル、サウシテ法人ハ全部責任ヲ負ウテ居テ、其債權者ニ支拂フト云フダケデアリマス
○男爵矢吹省三君 此二十八條、二十九條ニ付テノ字句ノコトデアリマスガ、無限責任ヲ負フ者トカ、有限責任ヲ負フ者トカ書イテ、無限責任社員トカ、有限責任社員トカ云フコトガ書イテアリマセヌガ、是ハ現在ニ使ハレテ居ル字句ノ方ガ、廣ク意味スルト云フヤウナコトガアルノデスカ
○政府委員(山内確三郎君) 會社デナクシテ無限責任ヲ負フ者ガ間々アルノデス、ケレドモ私ハ其後ノ方ニ產業組合ニ付テノ規定等モチョット考ヘナクナヤナラヌノデアリマスガ、併ナガラ產業組合デ無限責任產業組合ト云フコトニナルシテ云フト、其產業組合ノ無限責任債務ハ、矢張り外部ニ對シテ無限ノ責任ヲ負フト云フコトニナル、是ハチョット今ハキリ申上ゲ兼ネマスガ、確サウデアツタト考ヘマスガ、例ノ住宅組合ニ付テハ責任ガ、矢張り内部責任ノ方デハナカッタカノヤウニ思ヒマス

○藤田四郎君 第二十九條ノ事柄ト云フモノハ、書カヌデモ商法ノ原則トシテ、斯ウ云フ風ニナツテ居ラヌノデスカ
○政府委員(山内確三郎君) 商法カラ持ッテ來マス、合資會社ニ付テ言ヒマス、合資會社ノ有限責任社員ハ、會社債權者ニ對シテ直接ノ責任ヲ負フト云フコトニナツテ居ル、ソレデカラ會社ガ其會社ガ拂ヘナイト云フト、有限責任社員ヲ訴ヘテ、其出資ノ限度マデ其請求ガ出來ルコトニナツテ居ル

○藤田四郎君 サウ云フコトナラ、此方ガ矢張りサウナツタラ宜クナイノデスカ
○政府委員(山内確三郎君) 有限責任ノ社員ノコトデアリマスガ、出資限リノコトニナツテ居ル、ソレデ會社ノ方カラ出資ヲ拂ヘト云フシ、ソレカラ債權者ノ方カラハ出資ノ範圍ニ於テ掩ニ拂ヘト云フヤウナコトデ混ガラカルト云フヤウナコトニナルト甚ダ面白クナイ、會社カラ出資ヲ取立テル、サウシテ債權者ガ皆會社ニ……

○藤田四郎君 御趣旨ハ分リマシタガ、サウスルト現在ノ商法デハ、即チ若シ組合トカ會社トカ云フヤウナモノガ破産ノ場合ニ於テ、有限ノ組合員トカ、社員ト云フ者ガ、債權者

ニ對シテ直接ノ義務ヲ負フコト云フ場合アル、今度ノ案ハ
サウデナク、即チ内部義務ニシテ仕舞フ、會社組合員ニ
對シテ取立テテ、サウシテ會社が債權者ニ對シテ拂フ、斯ウ
云フ様ナ具合ニナルノデスカ、ト云フヤウニ解シマスルノデス
ガ、若シ此方宜シト云フコトナラ、商法ノ方ハ一體イジ
レ直サンナラヌモノニナルノデアリマスガ、アレハアレアル
ガ、是ハ是ト云フ、特別ノ理由ガアリマスガ

○政府委員(山内確三郎君) 物ニ依リマシテハ、スツカリ
内部有限責任ニシタ方宜クハナイカト、私個人トシテハデ
スガ、考ヘテ居ルコトガアリマス、現ニ相互保險會社ノ如キ
ハス、カリ内部責任デアリマス、然ニ産業組合ノ如キハ有限
責任社員ハ多數アルコト豫想シナケレバナラヌノニ、實際
ハ多數ナイカモ知レマセヌ、社員ノ信用ガ出來上テ居ルヤ
ウナコトデナニ拘ラズ、大概直接責任ニナテ居ルノハ、果
シテ正シイデアラウカト云フコトハ、我々ハ疑問トシテ考ヘ
タコトガアルノデアリマス、現ニ法典調査會案デアリマス所
ノ附則ノ中ニ、産業組合ノ社員ハ直接責任ハ負ハヌト云
フコトデ、附則ヲ以テ産業組合ヲ改メテヤウナ規定ガ唯一
箇條アル、然ニ農商務省ト色々相談シマス、今ソレヲヤ
シテハ紛亂シテ仕舞フコト云フノデ、此案ハ結局産業組合ニ
付テノ後ニモ規定ガアリマスガ、破産手續内ニ於テハ、此便
宜トシテ斯ウ云フ方法ヲ取ルト云フ趣意デ、商法自體ヲ改
メルト云フ……商法ヲ取テハ直チニ改メルト云フ考ハ此
點ニ付テハ未ダ深イ意味ニ於テ研究シナケレバナラヌト考
ヘテ居ル、併ナガラ何レニシテモ、其有限責任ハ破産ノ場合
ダケハ之ヲ以テ處理スル方ガ一番正シイデアラウ、便利ダラウ
ト云フノデ破産關係ニ於テノミ、マア斯ウ云フコトヲシタノ
デアリマス、商法ノ合資會社、合名會社ニ付テハ既ニ之ガ
法人トナルヤ否ヤ、法人トスルガ正シイヤ否ヤト云フコトニ
付テ、既ニ議論ガアル位デアリマスガ、併ナガラ今日ハ既ニ
法人トシテ居ル以上ハ……併ナガラ成ベク直接責任ノ規定
ヲ殘シテ置ク方ガ、寧ロ商法ノ合名會社、合資會社ハ法人
ニシナイト云フ趣意ノ方ニ付テハ、マア近イヤウナコトニナル
併ナガラ破産手續ノ上ノ處理ハ、矢張り有限責任ダケハ取
立ニシテ一切處理シテアル方ガ、有限ノ連帶債務者ヲ造
ルト云フヤウナコトガ、如何ニモ錯雜スルカラト云フノデ、之
ヲドウセ責任ヲ以テ將來破産スルノデアルカラ……サウ云フ
次第デゴザイマスガ、破産ダケハ斯ウ云フ風ニスル方ガ便
利デアラウ、全ク便宜ノ方カラ來テ居ル

○菅原通敬君 一十九條ハナカ……讀ミニクイ、但書ニ於
テ「法人ハ出資ノ請求ニ付破産債權者トシテ其ノ權利ヲ行
フコトヲ妨ケス」是ハ有限責任ヲ負フ者ガ破産ヲシタ場合ニ
於テハ、斯ウ云フ場合ノ適用ガアラウト思フ、有限責任ヲ負

フ者ガ破産ヲセズシテ、法人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタ、法人ガ
破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ニ於テモ、有限責任社員ハ破産ノ
責任ヲ受ケテ居ラナイ、其場合ニ於テモ其法人ハ破産債權
者トシテ有限責任社員ニスルコトガ出來ル、斯ウ云フヤウニ
讀メルノデアアルガ、ソレデ宜イノデスカ

○政府委員(山内確三郎君) 其文章ノコトニ付テハ、只
今菅原君ノ言ハレタヤウニ、屢々議論カアッタノデス、私モ其
文字トシテハ例ヘバ正シイ有限責任ノ責任ヲ負フ者ハ、破
産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ云々ト書クノガ、或ハ正シク
ハナイカト云フコトヲ考ヘテ居リマシタケレドモ、併ナガラ文
字ノ喧シイ所ニ於テ、斯ウ云フノガ文例デ、前段ノ廣イ所ノ
中ニ、此破産債權者トシテ出資ノ請求ヲ行フコト云フノガ一
部分這入テ居ル、其文例ノ喧シイ法制局デモ、之デ通シタ、
若シ正確ニスレバ私モ矢張り但シ有限責任ヲ負フ者ハ破
産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ、但シ法人ハ有限責任社
員ト云フ者ガ、破産ノ宣告ヲ受ケタ者ノ出資ニ付キ云々ト
云フ方ガ、一目瞭然ニナルカモ知レヌ、是デモ分ラヌコトハナ
イト云フコトデ、此儘ニナテ居リマス

○菅原通敬君 先ツキ此二十四條二十五條ノ場合ニ於
テドウモ分ラヌノデ考ヘテ置ク積リデアリマシタガ、ドウモ矢
張分リマセヌコトハ、先刻御説明ノ中ニ、第二十四條ニ於テ
ハ全員ガ其中ノ數人ガ、即チ其保證義務ノ場合ニ於テハ、
主タル債務者ト、保證債務者ト此二人ガ共ニ破産ノ宣告ヲ
受ケタ場合ノ規定ニナルノデ、ソレデ或場合保證人ダケ一
人破産ノ宣告ヲ受ケタ場合ヲ掲ゲナケレバナラヌカラ、第二
十五條ヲ設ケタノダト云フ御説明ト伺フデアリマスガ、若
シ二十四條ノ方ニ一人ト云フコトヲ加ヘタナラバ、第二十
五條ノ規定ハ要ラヌト云フコトニナルノデアリマスガ、
スカ、ドウモマダ分リマセヌガ……

○政府委員(山内確三郎君) 此二十五條ハ二十八條ト
能ク似テ居ルノデアリマス、此保證人、又二十四條ノ所謂
全部債務者ト、法人債務ニ付債權者ニ無限責任ヲ負フ者
ト、法人ガ矢張り無限責任ヲ負フコト云フコトガ明カデアリ
マス、是ハ當然デアリマスケレドモ、例ヘバ保證人ガ果シテ全
部債務者デアリヤ否ヤト云フコトニ付テハ、全部債務ト云フ
コトニ付テハ、キリ定メタモノノガ無イノデアリマスガ、稍、其疑
ヲ起シハセヌカト云フ嫌ヒガアル、デ二十五條ハ一面ニ於テ
保證人ハ此全部ノ履行ヲナスニシテモ、或條件ヲ以テナスノ
デアル、法人ニ付テモ或條件ヲ以テ社員ト云フモノハ無限
責任ヲ負フモノデアルト云フ譯ニナルノデアリマス、ソコデ二
十五條ニ保證人ノコトハ特ニ之ヲ書イテ、二十六條デハ更
ニ括テ保證人亦全部ノ義務者デアルト云フコトヲ、茲ニ結
局二十六條ニ依テ二十五條ト併セテ見合フ譯デアリマス、

故ニ書キ方ヲ若シ改メラバ、保證人ハ矢張り全部義
務者トシテ本法ニ於テハ見ルゾト云フコトヲ書ケバ、ソレ程
ハキリシタ疑ヲ除却スル文字ハ無イカモ知レマセヌガ、サ
ウ云フコトヲ書ク譯ニモ行キマセヌ、結局二十四、五、六條、
之ヲ以テ保證人亦全部義務者デアルト云フコトハ明カニナ
ル譯デ、此點ニ付キ疑義ヲ解クノ精神ガ、此中ニ包含シテ居
ルト御考ヘテ願ヒマス

○菅原通敬君 サウスルト二十四條ノ御仕舞ヒニ持ッテ
行ッテ、保證人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合モ亦同ジト書
イテモ、同ジ意味ニナリマスガ

○政府委員(山内確三郎君) サウモ行キマセヌデ、是ハ前
ノ書キ方ガ各破産財團ニ對シテ、破産債權者ニ於テ權利ヲ
行フコトヲ得ルト云フノデアリマスガ……

○菅原通敬君 一人シカ無イ場合ハ、一人……

○政府委員(山内確三郎君) ソコデ亦同ジト云フト、前
段ト連絡ヲ缺クノデ、例ヘバ二十九條ノ但書ヲ若シ極メテ
惡イトスレバ、同ジ意味ニ於テ文字ガ徹底シナイコトニナリ
マス

○藤田四郎君 アト一ツ御繼續ヲ……

○菅原通敬君 アトハ長クナリマスガ、コ、デ切ッテ戴イ
テ……

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレデハ説明ヲ願ヒマシテ
時間ガゴザイマシタラ……ソレデハ繼續ノ所ヲ三十條ヨリ三
十七條マデ

○政府委員(山内確三郎君) 三十條ハ繼續人ガ破産ノ
宣告ヲ受ケタ場合ノコトデアリマス、之ニ付テハ一言申上ゲ
タイノハ、財産分離ノコトデアリマス、此案デアハ財産分離ガ
アデモ、其財産ハ繼續人ノ財産トシテ、破産財團ニナリ得
ルト云フ主義ヲ採ッテ居ルノデアリマス、而シテ財産ノ分離
ノアタ場合ハ、御承知ノ通りニ繼續債權者ハ繼續財産ノ
範圍内ニ於テ、優先權者トナル繼續人ノ財産ニ付テハ、後
レタル順位ヲ以テ權利ヲ行フ、繼續財産カラ辨濟ヲ受クル
コトガ出來ナカッタ額ダケヲ、繼續人カラ辨濟ヲ受ケルト云フ
ノデアリマス、其權利ハ一方ニ於テ優先權ヲ持チ一方ニ於
テ優先ニ對シテ劣後權トデモ申シマスガ、サウ云フ權利ヲ持
テ居ル、ソコデ繼續人ガ破産ヲ宣告ヲ受ケタ場合ハ、繼續財
産ト繼續人ノ財産ガ合セテ破産財團トナル、其場合破産
債權ヲドウスルカト云フコトガ本條ニ於テ矢張り債權ノ全額
ニ付テ權利ヲ行フ、即チ破産ノ手續ニ加ハル勿論配當ト云
フコトニナレバ、今ノ順位ガ本ニナテ配當サレナケレバナラ
ヌコトニナル、ソレカラ三十一條ハ兩方、繼續財産ト繼續人
ト、兩方トモ破産ノ宣告ヲ受ケル、是ガ丁度破産財團ガ二
ツニ分レタ場合、此場合ニ繼續債權者即チ先代ノ債權受

遺者モ同様：遺贈ヲ受ケタ者アリマス、其受遺者ハ是ガ相續財産ニ付テ全部ノ權利ヲ行フコトハ當然アリマス、相續人ノ財産即チ相續財産ヲ引イテ、殘タ財産カラハ後レ配當ヲ受ケルノデアリマス、順位ハ別トシテ破産債權者トシテ、行フ額ハ全額アリマス、相續人ハ相續財産ニ付テ、或ハ相續人ノ方ニ付テモ債權ノ全額ニ付テ權利ヲ行フ、是ガ前段、後段ハ是ハ大變面倒ナコトデアリマス、相續財産ト前主ト此二人、即チ前主ト云ヘバ一番適切ノ例ヲ取リマスレバ隱居サン、隱居ニ依テ相續開始サレタ場合ニ於テ、此前主ノ破産ガ起ル、前主ガ破産スル、一方ニ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガ茲ニ起テ、斯ウ云フコトニナリマス、サウシマス相續債權者及ビ受遺者ト云フモノハ、相續財産ニ付テ全部ノ權利ヲ行フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、ソレカラ前主、此ノ前主ハ隱居ヲシテモ無論相續債權者即チ先代ノ債權者ハ、隱居サンニ對スル債權者デ本來アツタノデアリマス、相續開始シテモ竝ニ揭ゲマシタ民法ノ規定ニ依レバ、矢張前主ト對シテモ請求ガ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、此兩方ニ破産ガ起テキニモ、債權ノ全額ヲ各破産財團ニ付テ行ハセ、勿論債權者ト受遺者ガデアリマスソレガツツノ相續財産及ビ前主其次ニ相續人及ビ前主、此場合モ其ノ前主主ニ對シテ債權者ハ全額ヲ行ヘルト云フコトハ當然ナコトニナリマス、相續人、之ガ破産シタ場合ニ於テモ、其處ニ債權者受遺者ガ其權利ヲ全部行フコトモ當然ノコトデソレカラモウツハ相續財産ト相續人ト前主ト、此三者ノ破産ガ同時ニ起ラト云フ場合ニモ、相續債權者及ビ受遺者ハ相續財産ニ其全額ヲ掛カレル、斯ウ云フ諸般ノ場合ヲ想像シテ起リ得ベキ總テノ場合ニ付テ、三十一條ハ破産債權額ヲ定メタ、ソコデ三十二條ハ是ハ一ツノ特別デアリマス：特別デアリマス、言フハ俟タズ規定デアリマシテ、是モ亦念ノ爲ニ掲ゲテアルノデス、相續人ガ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ：併ナガラ限定承認ヲスレバ、此相續人ハ自分ノ財産ヲ以テシテハ、相續債權者ナリ受遺者ナリ責任ハナシ、サウ云フ次第デアリマス、相續債權者及ビ受遺者ハ相續人ノ固有財産ニハ掛カレナイソト云フコトヲ、三十一條ニ掲ゲタ結果トシテ茲ニ御斷リシテ置ク必要ガアル、是ハ相續人自ラ限定承認ヲシタ場合、併ナガラ法律ニ依テ限定承認ノ效力ヲ認メタ場合ガ前ニモアツタノデアル、其場合モ同様破産手續ニ於テハ破産債權者トシテ、相續人ノ財産ニ固有財産ニ掛カルト云フ譯ニハイカス、固有財産ニ之ガ掛テ相續債權者ノ權利ヲ行フコトニナル、法律ガ限定承認ヲ認メタ效力ハナイコトニナル、之ヲ書イテ仕舞ヘバ當然ナコトデアリマス、當然ナコトヲ規定スルノガ又法

律デアルカモ知レマセヌ、此點ヲ特ニ三十一條ト對照シテ疑ヒナイヤウニ、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマス、其次ハ此ノ方ノ規定、相續財産ニ對シテ破産ノ宣告ガアルトキニハ、相續人ノ被相續人ニ對スル債權ト云フモノハ、相續アルガ爲ニ消滅セザルモノデアルト云フコトハ、説明上申上ゲテ置イタノデアリマス、其權利ハ然ラバ如何ニシテ行フカト云ヘバ、相續財産ニ對スル破産債權者トシテ、相續債權者ト同一ノ地位ニ立ツト云フコトヲ茲ニ掲ゲタノデソレカラ先代ノ債務ヲ相續人ガ自分ノ固有財産ヲ以テ辨濟シタト云フヤウナ場合等ヲ考ヘマス、之ニ依テ相續財産ヲ利得スルヤウナ譯ニナル、此分ハ矢張相續債權者トシテ、必然返還ヲ請求スル爲ニ、破産債權ヲ行フト云フノガ斯ウナルノデアリマス、ソレカラ三十四條ハ之ガ特別ナシテ、相續財産ガ破産ノ宣告ヲ受ケタトキニ御承知ノ通り相續人ノ債權者ト雖モ、其相續財産カラ請求ヲシテ辨濟ヲ受ケルト云フコトハ、別ニ規定ヲ茲ニ置カナケレバ當然ノコトデ、即チ相續財産ハ結局相續人ノ財産デアリマス、相續人ノ固有ノ債權者モ其財産ニ掛カルコトノ出來ルノハ、民法當然ノ規定ニナッテ居ル、唯順位ガ遅レルノデアル、財産ノ分離限定承認ノ場合ニ於テ、矢張順位ガ遅レテ居ル併ナガラ矢張其相續財産ニ掛カレルカラ、本來ナラバ破産債權者トナルベキ筈デアリマス、相續財産ニ對シテ破産ト云フモノハ、サウ云フコトニナルコト云フ、結局相續債權者ト云フモノヲ保護スルダケノコトデ、相續債權者ニ於テ其相續財産カラ多クハ完全ニ辨濟ヲ受ケナイト云フ場合ガ、本ニナッテ居ル、破産ノ宣告ヲ受ケテ其手續ヲ執行スルト云フ、多クハ財産ガ殘ルコトハナイノデ、相續人ハ債權者ノ破産手續ニ加入ヲシテ居テモ、是ハ無用ノコトニナルノデ、若シ又財産ガ餘タトシマス、相續債權者ハ辨濟ヲシテ財産ガ殘ラト云フトキニ、餘タ財産ヲ相續人ノ方ニ引渡セバ、態々相續人固有ノ債權者ヲ千續ニ參加サセ、複雑ナ配當ヲスルヨリ却テ便利ダト云フノデ、此相續財産ニ對スル破産ノ場合ニ於テハ、相續債權者受遺者ハ、即チ遺贈ヲ受ケタ者、此者ダケ破産債權者トシテ處理ヲ終ヘル、殘タ財産ガ若シ有リトスレバ、ソレハ相續人ニ引渡スト云フ主義ヲ以テ、三十四條ノ特別規定ヲシタコトニナル、ソレカラ三十五條、是モ奇妙ナ關係ガ生ズルノデアリマス、隱居ガ居テ財源ヲ留保シタ、其留保財産ハ相續財産破産ノ場合ニハ、破産財團ニ這入ルモノデアルト云フヤウナ前ニ規定ガアル、サウナラバ其財産即チ留保財産ニハ、相續開始後前主ノ債權、即チ隱居シタ後ニ債務ヲ隱居サンガ負擔シタレハ、其債權者ノ留保財産ニ掛カレル譯デアル、所ガ其財産ハ相續財産ノ中ニ這入テ居リマス、詰リ隱居後ノ債權者ト云フモノハ、矢

張破産財團ニ參加セシナケレバナラヌ、參加スルニ付テハ勿論全額ノ債權ヲ以テ參加スルコトヲ適當トスル、併ナガラ勿論法律ノ精神ト致シマシテハ、言フハ俟タズコトデアルノガ、此十三條ノ財産アル、場合ダケデアル、而モ隱居ノ債權者ハドレダケノ配當ヲ受ケルカト云ヘバ、十三條ノ財産ヲ超エテ相續財産ニ掛カレナイト云フコトハ當然デアル、是ハ配當ノ關係ニナルノデ、破産手續ニ參加スルニ付テハ、債權額ハ其全額ニ付テ之ヲ定メルト云フノガ三十五條：三十六條ハ矢張同ジヤウナ關係、隱居サン相續財産ニ付テ破産ノ宣告ガ起テ來ル、此場合ニ於テ隱居後ノ債權者ハ、破産債權ト留保財産ニ對シテ其權利ヲ行フコトヲ得、斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ三十七條ハ是ハ相續人ガ隱居ニ依テ生ジタル相續人：相續人ガ相續シタ場合ニ隱居サンモ矢張り民法ノ規定ニ依テ辨濟ノ義務ガアル、其辨濟ノ義務ガアルガ、辨濟ヲ致シマシタ後ハ、勿論其相續人ニ對シテ求償權ハアルモノデアルト云フ解釋ガ定テ居ルノデアリマス、サウ致シマス、求償權ノコトデアリマス、將來ノ求償權即チ未ダ辨濟セザル以前ニ於テノ求償權ニ付テ、破産債權者トシテ權利ヲ行フコトヲ當然トスル、是モ將來ノ求償權行使ノ事柄デアリマス、二十六條同様ニ詰リ本物ノ債權者ガ掛ルト云フヤウナ場合ニ付テモ、斯ウ云フ風ナ規定ヲ以テ準用スベキモノト致シマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) モウ今日ハ此説明ダケデ、委員會ヲ閉ヂマス

午後三時五十一分散會

出席者左ノ如シ

伯爵松平	賴壽君
松室	致君
河村	讓三郎君
藤田	省三君
加太	四郎君
菅原	邦憲君
	通敬君
司法次官	山内 確三郎君
司法省民事局長	池田 寅三郎君
司法省刑事局長	林 賴三郎君
司法省參事官	三宅 正太郎君

貴族院破産法案外一件特別委員小委員會速記録第一號正誤

頁	段	行	誤	正
一	上	三		
二	下	二三	委員長代理	副委員長
七	同	二五	同	同